

多摩市の世論

(平成19年度)

第30回

多摩市政世論調査概要版

多 摩 市

多摩市の世論

平成19年度

第30回 多摩市政世論調査 概要版

調査の内容

・調査対象者の特性

- | | |
|--------------|----------------------|
| (1) 性別 | (6) 家族人数 |
| (2) 年齢 | (7) 家族形態 |
| *p2 (3) 職業 | *p3 (8) 65歳以上の高齢者の有無 |
| (4) 就業場所 | (9) 居住地 |
| *p3 (5) 居住形態 | (10) ライフステージ |

・質問内容

- 1. 定住意向**
 - *p3 (1) 以前住んでいた所
 - *p4 (2) 転入理由
 - *p4 (3) 居住年数
 - (4) 市内転居回数
 - *p4 (5) 定住意向
 - *p5 (6) 市外へ転出したい理由
- 2. 生活環境**
 - *p5 (1) 住みよさの総合評価
 - *p6 (2) 生活環境の総合評価
- 3. 地域活動と生涯学習**
 - *p6 (1) 地域活動の現況と意向
 - *p7 ・現在参加している地域活動
 - *p7 ・これまでに参加したことがある地域活動
 - *p7 ・現在参加していないが今後してみたい地域活動
 - *p7 (2) 行政が力を入れるべき地域活動
 - *p8 (3) 生涯学習の現況と意向
 - *p8 ・現在学習している項目
 - *p8 ・これまでに学習したことがある項目
 - *p8 ・現在学習していないが今後学習してみたい項目
- 4. 暮らし向き**
 - (1) 暮らし向きの変化
 - (2) 暮らし向きの悪化理由
 - *p9 (3) 日常生活の悩み・不安
- 5. 窓口対応の満足度**
 - *p9 (1) 市役所及び出張所の窓口サービスの満足度
 - *p9 (2) 職員の対応についての満足度
 - (3) 満足、不満足の原因
 - *p9 (4) 事務処理の対応についての満足度
 - (5) 満足、不満足の原因
 - *p10 (6) 市役所及び出張所の窓口サービスへの要望
- 6. 市政への要望**
 - *p10 (1) 多摩市に必要な施設〔市内全域の施設〕
 - *p11 (2) 多摩市に必要な施設〔身近な地域の施設〕
 - (3) 商店街の満足度
 - (4) 商店街に満足している理由
 - (5) 商店街に不満足な理由
 - (6) 市内にほしい商業施設〔駅周辺〕
 - (7) 市内にほしい商業施設〔自宅周辺〕
 - (8) 市内にほしい商業施設〔幹線道路沿い〕
 - (9) 各市政の満足度
 - *p11 (10) 行政に力を入れてほしいこと
- 7. 環境問題の関心**
 - *p12 (1) 関心のある地域レベルの環境問題
- 8. 市政への関心**
 - *p12 (1) 市政への関心度
 - (2) 市政に関心のない理由
- 9. 市施設の利用状況**
 - *p13 (1) 市施設の周知度と利用状況
- 10. 男女平等について**
 - *p14 (1) 男女の地位の平等性についての認識
 - *p14 (2) 行政が力を入れるべき男女平等施策
- 11. 食育について**
 - *p15 (1) 「食育」の周知度
 - *p15 (2) 健康に対する食事の影響についての意識
 - *p16 (3) 朝食の摂取状況
 - *p16 (4) 一緒に食事をする相手
 - *p17 (5) 食事の栄養バランスに対する関心度
 - *p17 (6) 食の安心・安全に対する関心度
- 12. 障がい者の理解促進について**
 - *p18 (1) 障害者自立支援法に関する認知度
 - *p18 (2) 後天的障害に関する認知度
 - *p18 (3) 障害者手帳に関する認知度
 - *p19 (4) 障がい者に対する手助けの状況
 - *p19 (5) 障がい者の理解促進に必要なこと
- 13. 多摩市自治基本条例について**
 - *p20 (1) 多摩市自治基本条例の周知度
 - *p20 (2) 市政への市民参画の有無
 - *p21 (3) 市政への市民参画の必要性
- 14. 多摩市議会の中継について**
 - *p21 (1) 市議会の傍聴の有無
 - *p21 (2) 庁舎ロビーでの市議会中継の視聴状況
 - *p22 (3) 市議会中継の視聴意向
- 15. 生活の中での実感**
 - *p23 (1) 日常生活での実感 (~)
~ 25
 - *p25 (2) 現在の健康状態
 - (3) 健康維持のため実践していること
 - (4) かかりつけの医師の有無
 - (5) かかりつけの歯科医師の有無
- 16. インターネット**
 - *p26 (1) インターネットの利用状況
 - (2) インターネットの接続環境
 - *p26 (3) 多摩市公式ホームページの閲覧状況
 - *p27 (4) 多摩市公式ホームページの閲覧記事
- 17. たま広報**
 - (1) 「たま広報」の講読度
 - (2) 「たま広報」の関心がある記事
- 18. エフエム多摩**
 - (1) 「エフエム多摩」の周知度
 - (2) 「エフエム多摩」で知りたい情報
- 19. 多摩テレビ**
 - (1) 「多摩テレビ」の周知度
 - (2) 「多摩テレビ」で知りたい情報
 - (3) 「多摩テレビ」未加入の理由

*印はこの冊子で紹介した質問です。数字は本冊子内のページ数を示しています。

地域別区分図

地域別集計では、市内を 17 の地域、10 のブロック（図中の丸数値）に分けて集計しています。

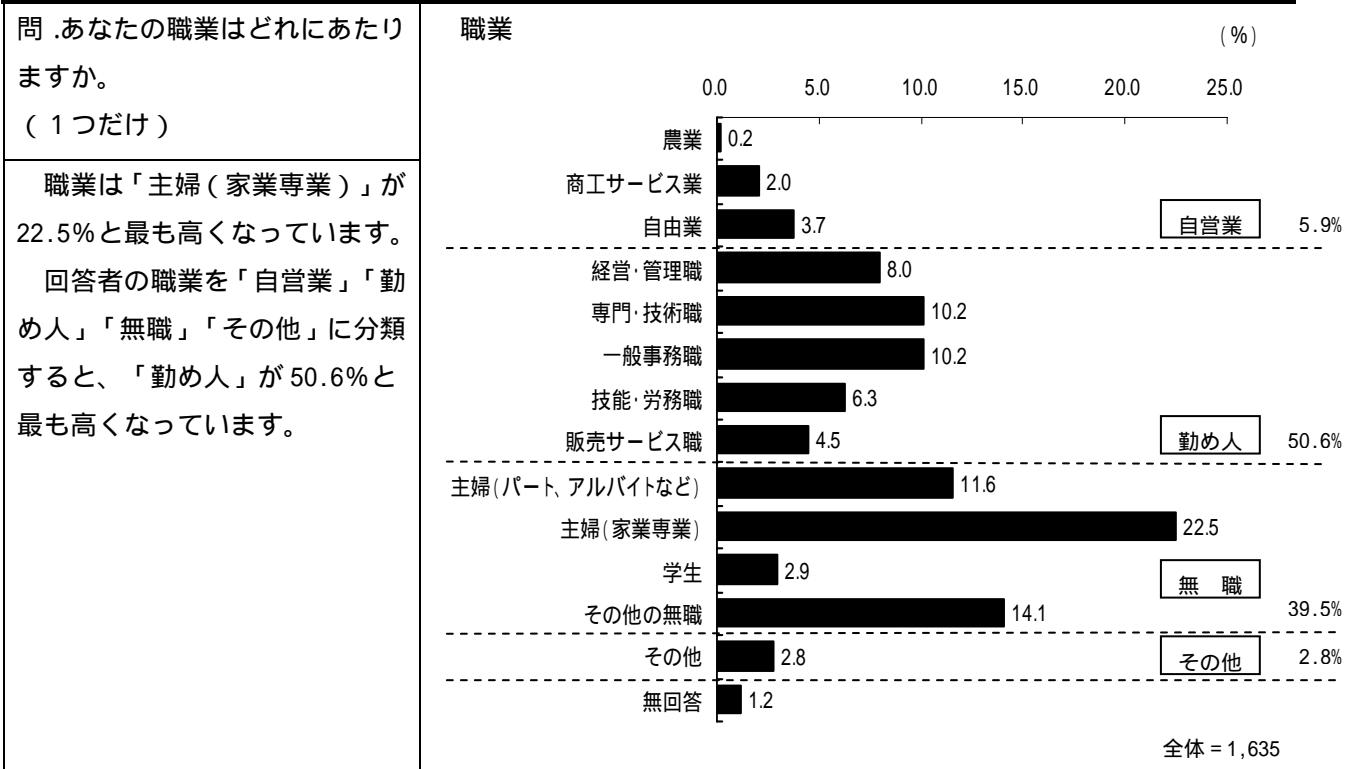
- 関戸・一ノ宮
- 連光寺・聖ヶ丘
- 桜ヶ丘
- 東寺方・百草・落川・和田
- 愛宕・乞田・貝取
- 馬引沢・諏訪
- 永山
- 貝取・豊ヶ丘
- 鶴牧・落合・南野
- 唐木田・中沢・山王下



《集計にあたっての注意事項》

百分率の基数は、回答者数 1,635 を 100%としています。（ただし、質問によって該当者を 100%とする場合は、質問ごとに基数 n を明示しています。）
 図表中の百分率の数値は、小数点第 2 位で四捨五入しているため、百分率の合計が 100%にならない場合があります。
 1 人の回答者が複数の回答をする複数回答の設問においては、百分率の合計が 100%を上回る場合があります。

- (3) 調査対象者の特性（職業）



問 .あなたの職業はどれにあたりますか。
 (1 つだけ)

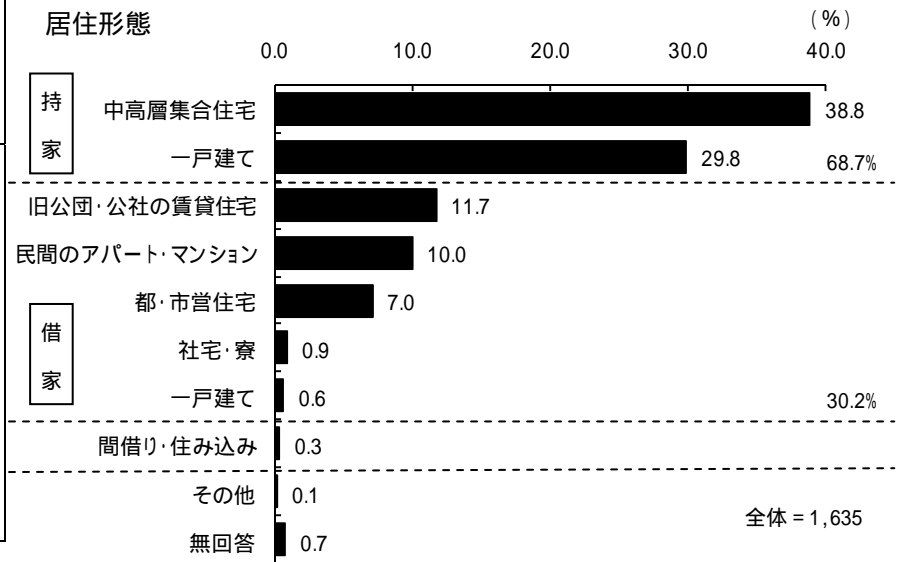
職業は「主婦(家業専業)」が 22.5%と最も高くなっています。

回答者の職業を「自営業」「勤め人」「無職」「その他」に分類すると、「勤め人」が 50.6%と最も高くなっています。

- (5) 調査対象者の特性 (居住形態)

問.あなたのお住まいはどれにあ
たりますか。
(1つだけ)

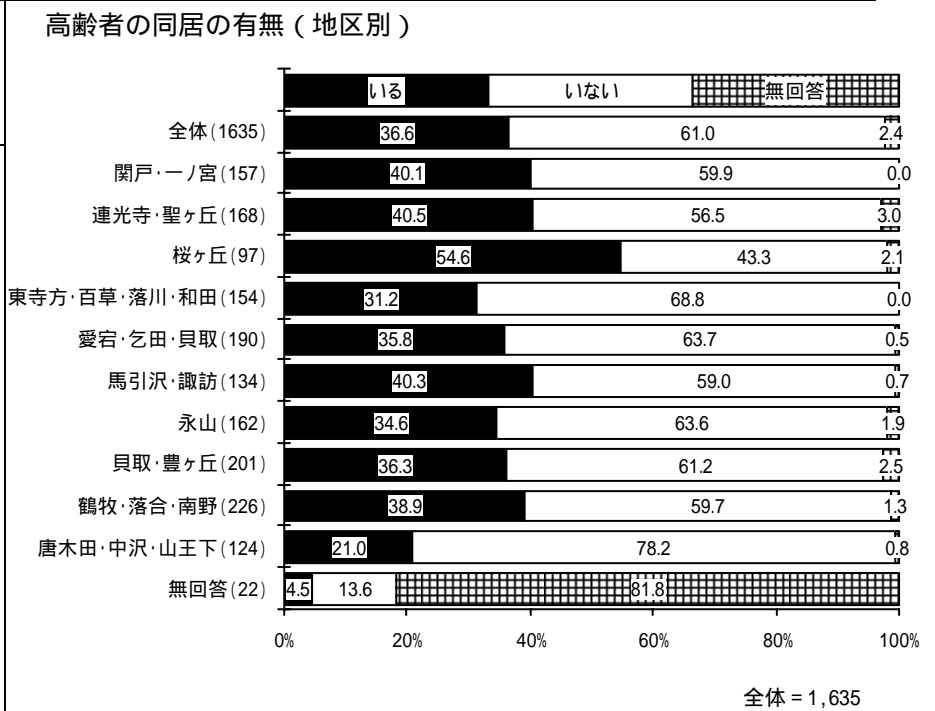
持家の「中高層集合住宅」が
29.8%と最も高くなっています。
持家は全体の68.7%を占めて
おり、借家は30.2%となってい
ます。



- (8) 調査対象者の特性 (65歳以上の高齢者の有無)

問.あなたのご家庭には、65歳
以上の方がいらっしゃいますか。
(1つだけ)

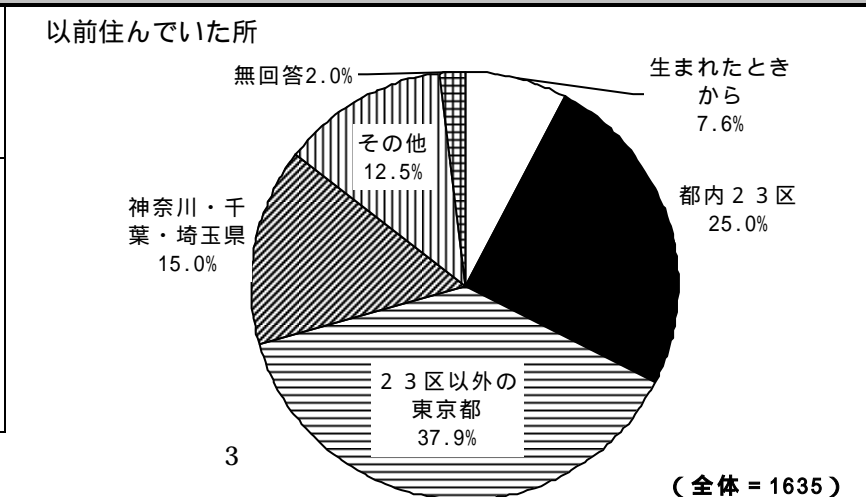
全体では、家庭に65歳以上の
高齢者が「いない」という家庭が
多く、61.0%となっています。
地域別では、桜ヶ丘地域で65
歳以上の高齢者がいる家庭の割
合が54.6%と最も高くなってい
ます。また、唐木田・中沢・山王
下地域ではいない割合が78.2%
と最も高くなっています。



- 1 - (1) 前住地

問.あなたは多摩市に住む前はど
ちらにお住まいでしたか。
(1つだけ)

多摩市外からの転入者が90.4%
を占め、「生まれたときから」市
内に住んでいる人は7.6%にとど
まっています。

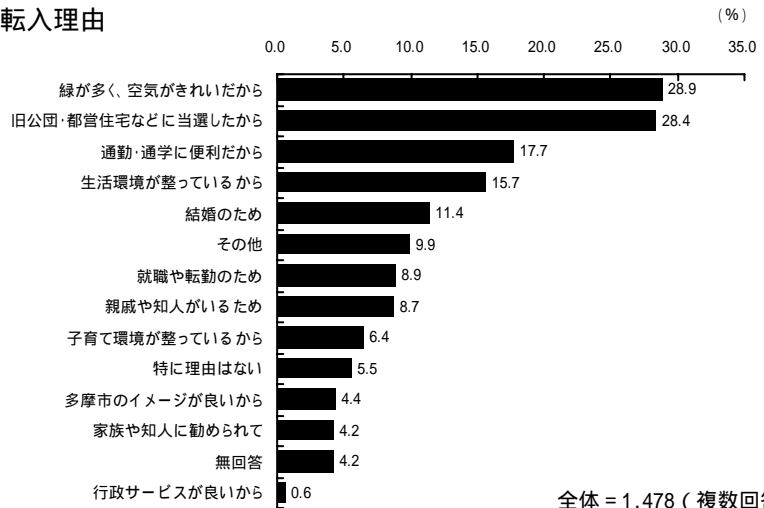


- 1 - (2) 転入理由

問．多摩市に移ってこられた理由は何ですか。
(いくつでも)

「緑が多く、空気がきれいだから」、「旧公団・都営住宅等に当選したから」がそれぞれ約3割を占め、転入の主な理由となっています。

転入理由

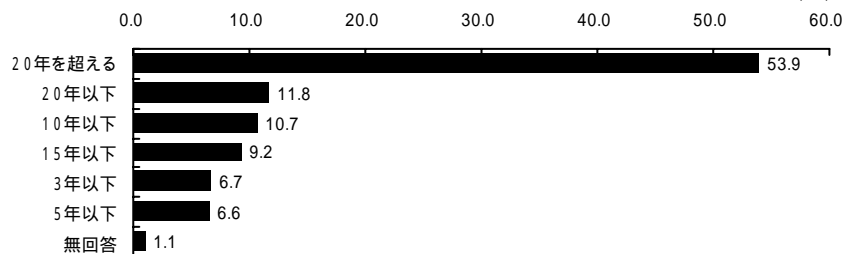


- 1 - (3) 居住年数

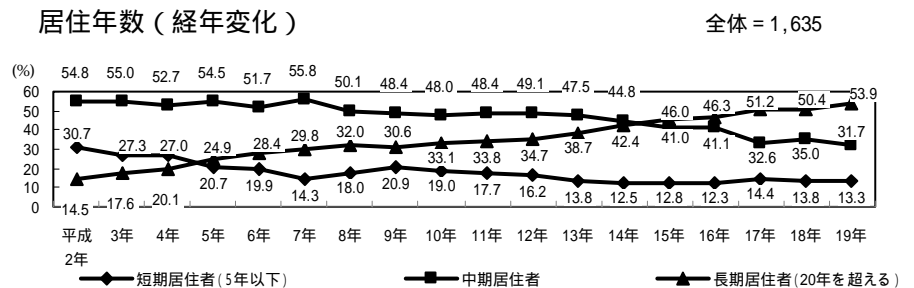
問．あなたは多摩市にお住まいになって、何年ぐらいになりますか。
(1つだけ)

「20年を超える」が53.9%と最も高く、過半数を超えています。
経年変化をみると、ここ3年間は、ほぼ横ばいに推移しています。昨年度に比べて“長期居住者”は増加、“中期居住者”は昨年度よりやや減少に転じています。

居住年数



居住年数(経年変化)

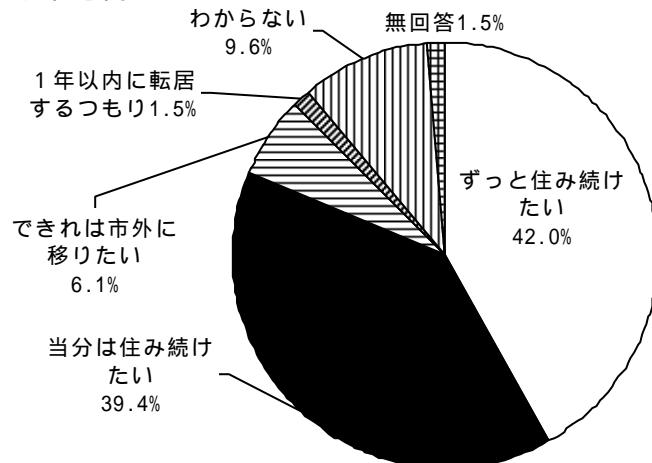


- 1 - (5) 定住意向

問．あなたはこれからも多摩市に住み続けたいと思いますか。
(1つだけ)

「当分は住み続けたい」と「ずっと住み続けたい」をあわせた“定住派”が81.4%を占めています。

定住意向

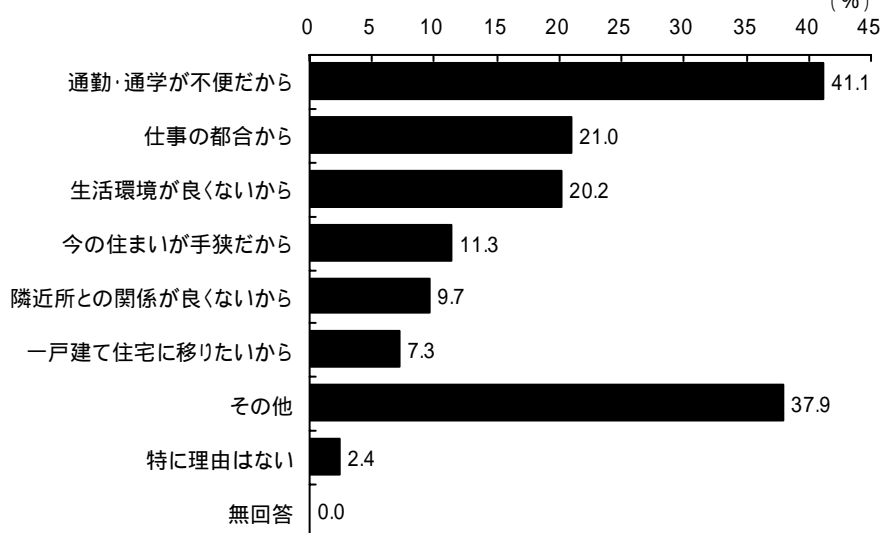


- 1 - (6) 市外へ転出したい理由

問．あなたが市外へ転出したい理由は何ですか。
(いくつでも)

「通勤・通学が不便だから」が最も高く、41.1%を占めています。次いで「仕事の都合から」21.0%、「生活環境が良くないから」20.2%の順となっています。

市外へ転出したい理由



全体 = 124 (複数回答)

- 2 - (1) 住みよさの総合評価

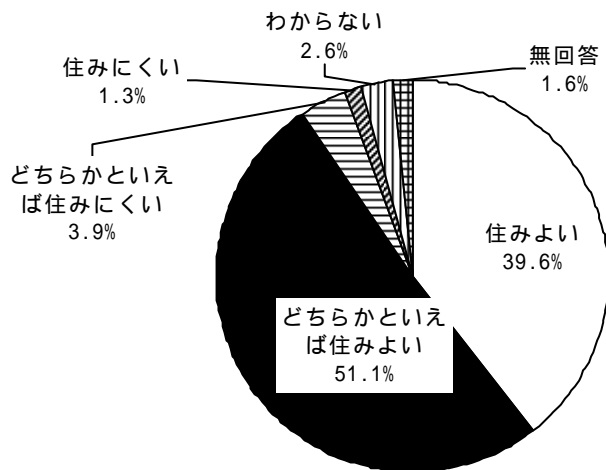
問．あなたは総合的にみて、多摩市は住みよいまちだと思いますか。
(1つだけ)

「どちらかといえば住みよい」と「住みよい」をあわせた“肯定評価”が90.7%を占めています。

また、「どちらかといえば住みにくい」3.9%、「住みにくい」1.3%をあわせた“否定評価”は5.2%にとどまっています。

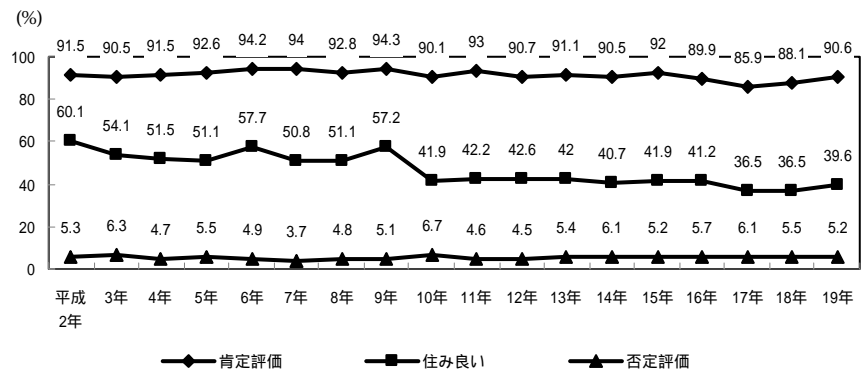
平成2年以降の推移をみると、“肯定評価”、“否定評価”とも横ばいの推移となっていますが、平成17年以降“肯定評価”は、やや増加に、“否定評価”は、やや減少の傾向がみられます。

住みよさの総合評価



(全体 = 1635)

住みよさの総合評価 (経年変化)



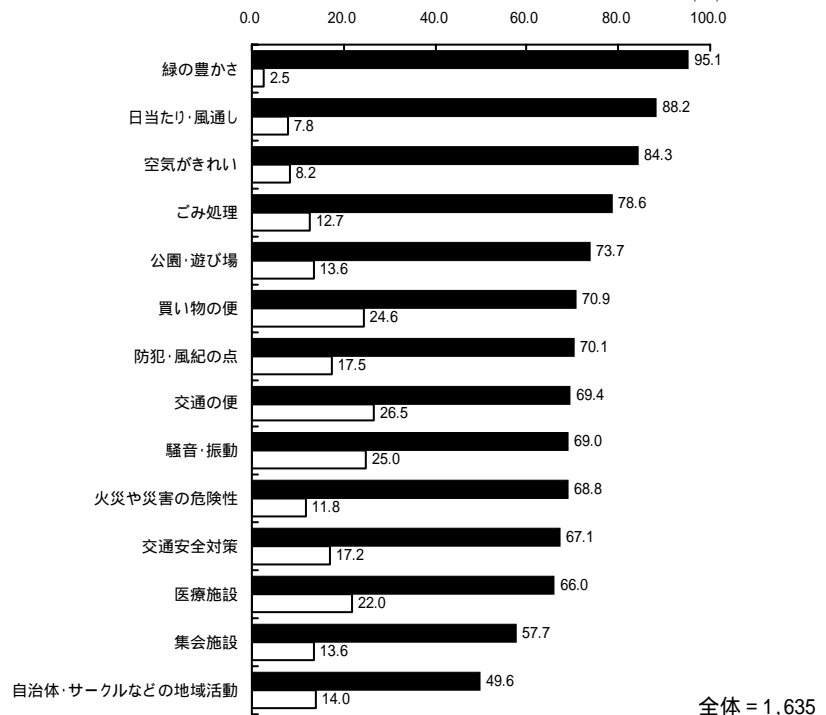
- 2 - (2) 生活環境の総合評価

問．あなたはお住まいの地域の環境について、どのような感想をお持ちですか。
(1つだけ)

評価が高い項目は、「緑の豊かさ」「日当たり・風通し」「空気がきれい」などの自然環境面となっており、それぞれ8割以上を占めています。次いで「ごみ処理」「公園・遊び場」「買い物の便」「防犯・風紀の点」が7割以上を占め高くなっています。

これに対して、評価が低い項目は、「交通の便」「騒音・振動」「買い物の便」「医療施設」などとなっており、利便性や快適性に関する項目が挙げられています。

生活環境の総合評価



“良い計”は「良い」と「どちらかといえば良い」の合計
“悪い計”は「悪い」と「どちらかといえば悪い」の合計

- 3 - (1) 地域活動の現況と意向

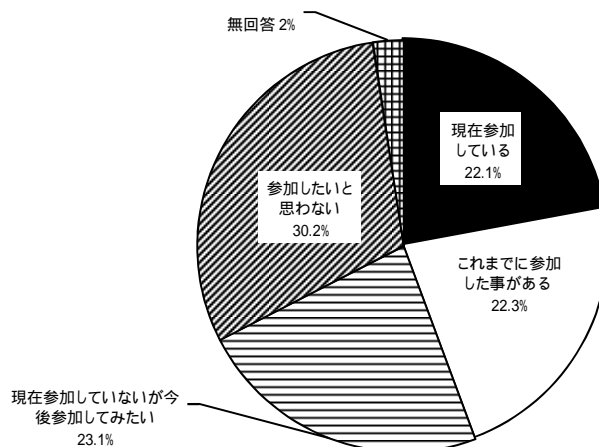
問．あなたは現在、地域活動や行事、またはボランティア活動に参加していますか。
(1つだけ)

地域活動の参加状況は「参加したいと思わない」が最も高く、30.2%を占めています。

「参加したいと思わない」と「現在参加していないが、今後参加してみたい」をあわせた“現在参加していない”は53.4%と半数以上を占めています。

また、「現在参加している」は22.1%と最も低い割合となっています。

地域活動に対する現況と意向



- 3 - (1) 地域活動の現況と意向

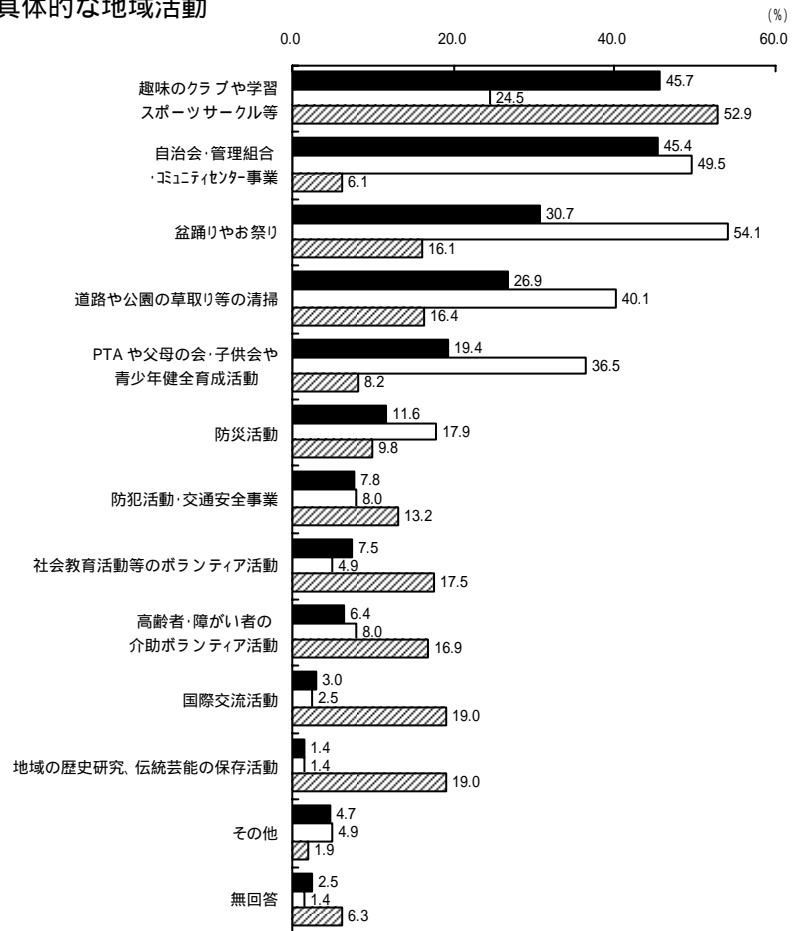
問．地域活動等に「現在参加している」「これまでに参加したことがある」「現在参加していないが、今後参加してみたい」とお答えの方はその地域活動等をお答え下さい。

(いくつでも)

現在参加している、今後参加してみたい地域活動では「趣味のクラブや学習スポーツサークル等」、「自治会・管理組合・コミュニティセンター事業」が高い割合を占めています。

これまでに参加したことがある地域活動では「盆踊りやお祭り」が最も高くなっています。

具体的な地域活動



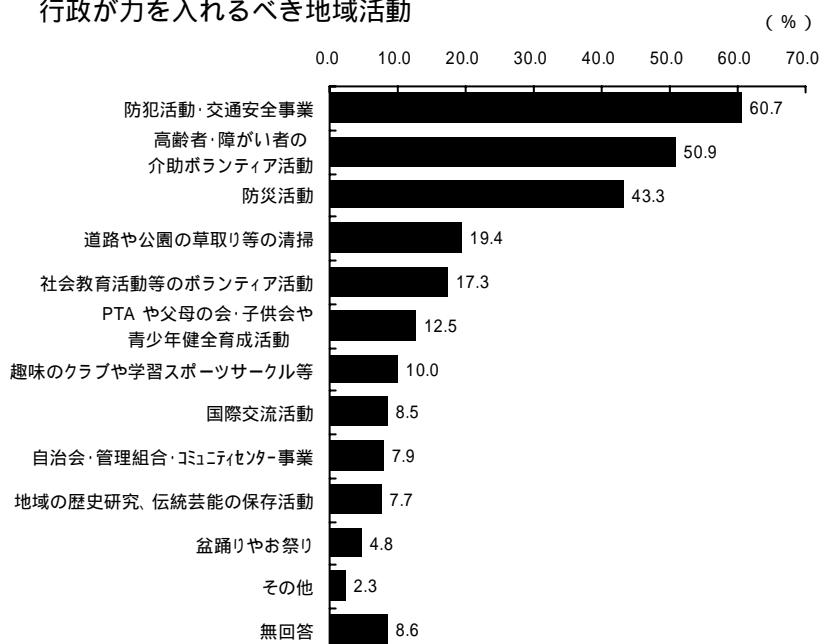
■ 現在参加している 全体=361 (複数回答)
 □ これまでに参加したことがある 全体=364 (複数回答)
 ▨ 現在参加していないが今後参加してみたい 全体=378 (複数回答)

- 3 - (2) 行政が力を入れるべき地域活動

問．あなたが行政が力を入れるべきだと思う地域活動等をお答え下さい。(3つまで)

行政が力を入れるべき地域活動等は「防犯活動・交通安全事業」60.7%が最も高く、次いで「高齢者・障がい者の介助ボランティア活動」50.9%、「防災活動」43.3%の順となっています。

行政が力を入れるべき地域活動



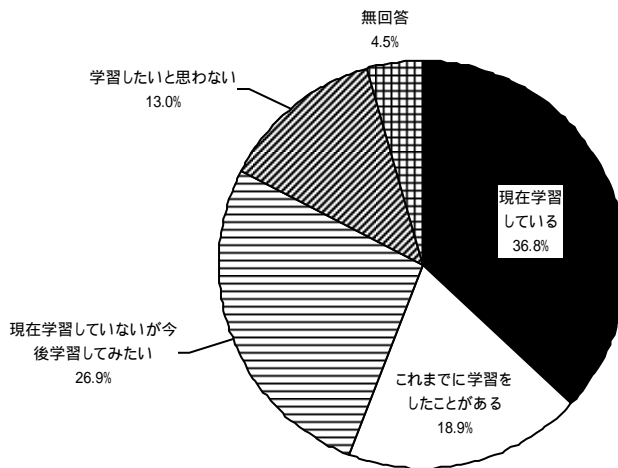
全体 = 1,635 (複数回答)

- 3 - (3) 生涯学習の現況と意向

問．あなたはこの1年くらいの間に、教養を高めるための学習等をしたことがありますか。（1つだけ）

教養を高めるための学習については「現在学習している」36.8%が最も高く、次いで「現在は学習していないが今後学習してみたい」26.9%となっています。

生涯学習の経験



全体 = 1,635

- 3 - (3) 生涯学習の現況と意向

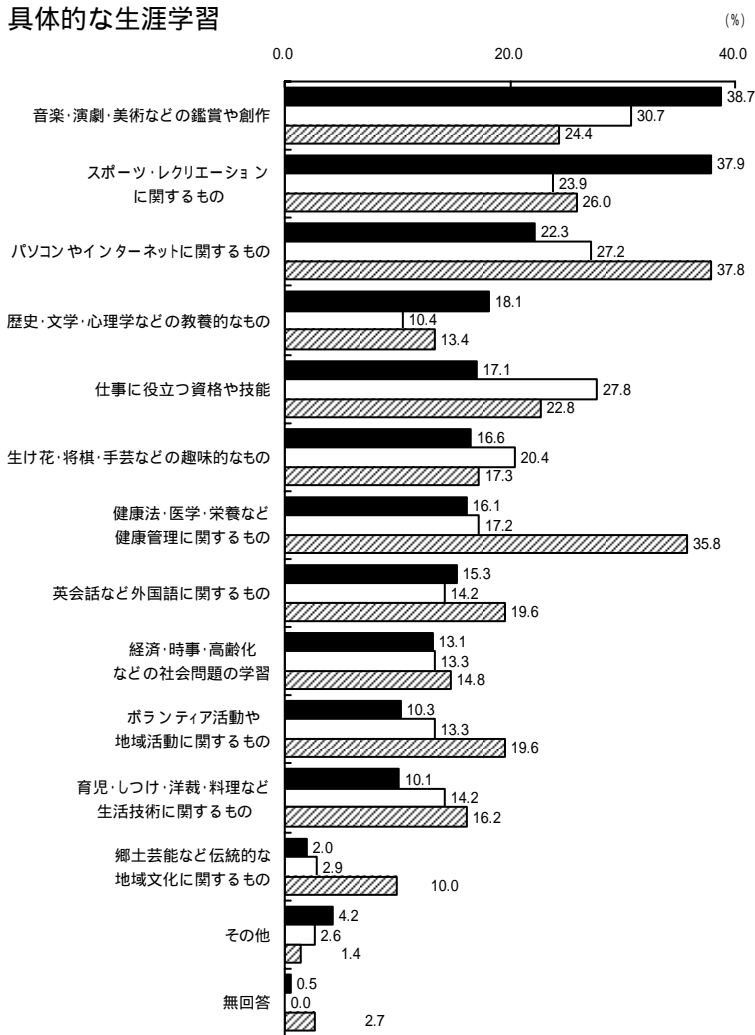
問．教養を高める学習を「現在学習している」「これまでに学習したことがある」「現在学習していないが、今後学習してみたい」とお答えの方はその学習内容をお答え下さい。

（いくつでも）

現在学習しているものは、「音楽・演劇・美術などの鑑賞や創作」「スポーツ・レクリエーションに関するもの」が高くなっています。

今後学習したいものは、「パソコンやインターネットに関するもの」「健康法・医学・栄養など健康管理に関するもの」が高くなっています。

具体的な生涯学習



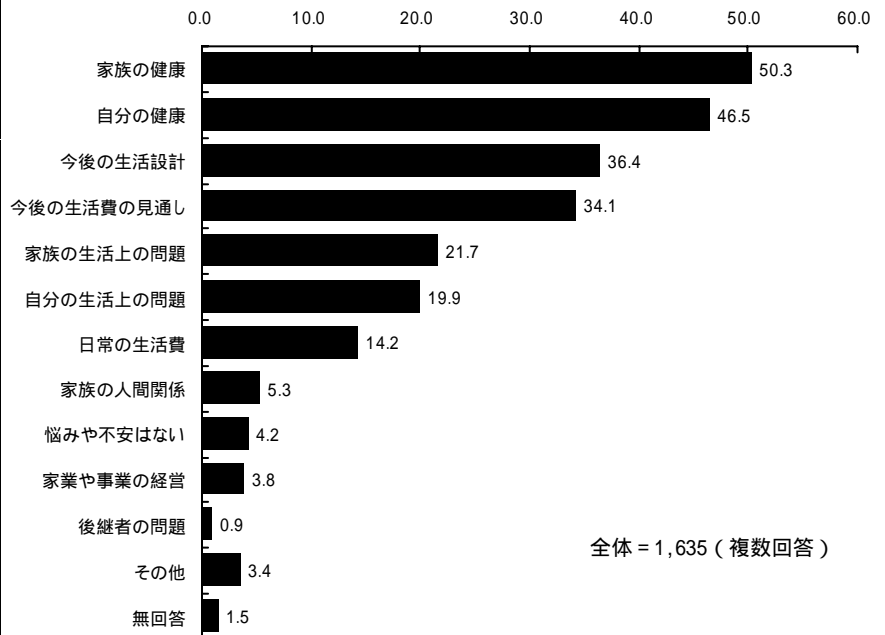
■ 現在学習している 全体=602(複数回答)
 □ これまでに学習したことがある 全体=309(複数回答)
 ▨ 現在学習していないが今後学習したい 全体=439(複数回答)

- 4 - (3) 日常生活の悩み・不安

問．あなたは日常生活の中で、どのようなことに悩みや不安を感じていますか。
(3つまで)

「家族の健康」50.3%、「自分の健康」46.5%がともに5割前後を占めており、健康に関する悩みや不安が高くなっています。次いで「今後の生活設計」36.4%、「今後の生活費の見通し」34.1%と今後の生活への不安が高くなっています。

日常生活の悩みや不安



- 5 - (1)(2)(4) 窓口対応の満足度

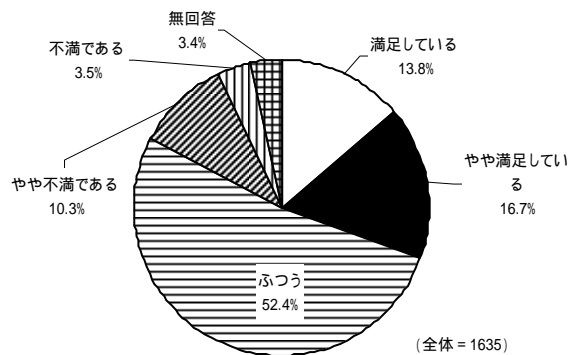
問．市役所及び出張所の窓口サービスについて、どのように感じていますか。
(それぞれ1つだけ)

窓口サービス業務に関しては、各項目とも「ふつう」と感じる意見が約半数を占めています。

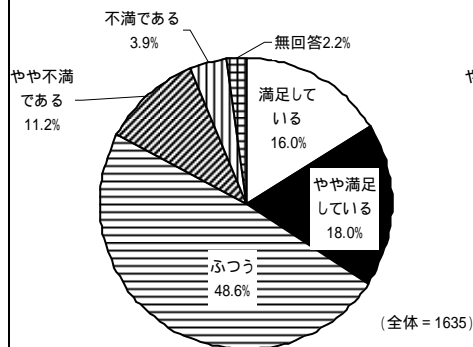
各項目とも「満足」「やや満足」をあわせた“満足”は、3割以上を占めています。

また、各項目とも「不満」「やや不満」をあわせた“不満”は1.5割程度となっています。

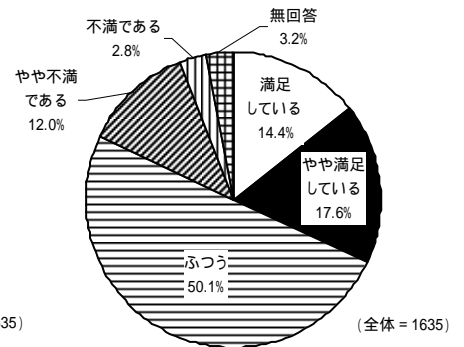
全体の印象



職員の対応



事務処理の対応

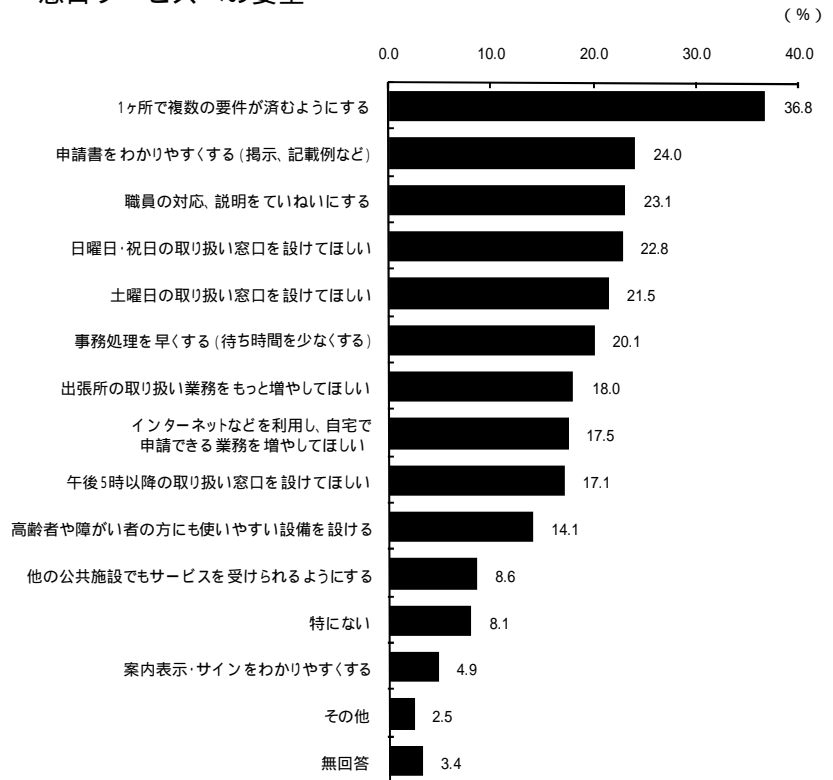


- 5 - (6) 窓口サービスへの要望

問．あなたが市役所や出張所の窓口サービスに対して、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。
(3つまで)

「1ヶ所で複数の要件が済むようにする」が36.8%と最も高くなっており、次いで「申請書をわかりやすくする」24.0%、「職員の対応、説明をていねいにする」23.1%、「日曜・祝日の取り扱い窓口を設けてほしい」22.8%の順となっています。

窓口サービスへの要望



全体 = 1,635 (複数回答)

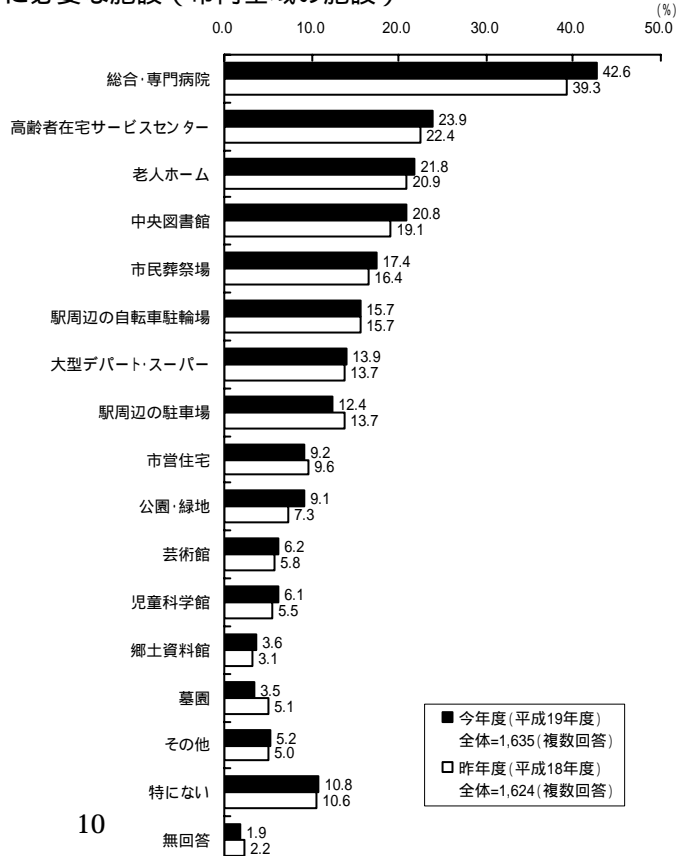
- 6 - (1) 市政への要望 (市内全域で必要な施設)

問．あなたは現在の多摩市に、特にどのような施設が必要だと思いますか。
(市内全域) (3つまで)

「総合・専門病院」が42.6%と最も高くなっており、次いで「高齢者在宅サービスセンター」23.9%、「老人ホーム」21.8%、「中央図書館」20.8%の順となっています。

昨年度の結果と比べると、上位の項目は、ポイントが増加しています。

多摩市に必要な施設 (市内全域の施設)



■ 今年度 (平成19年度)
全体=1,635 (複数回答)
□ 昨年度 (平成18年度)
全体=1,624 (複数回答)

- 6 - (2) 市政への要望（身近な地域で必要な施設）

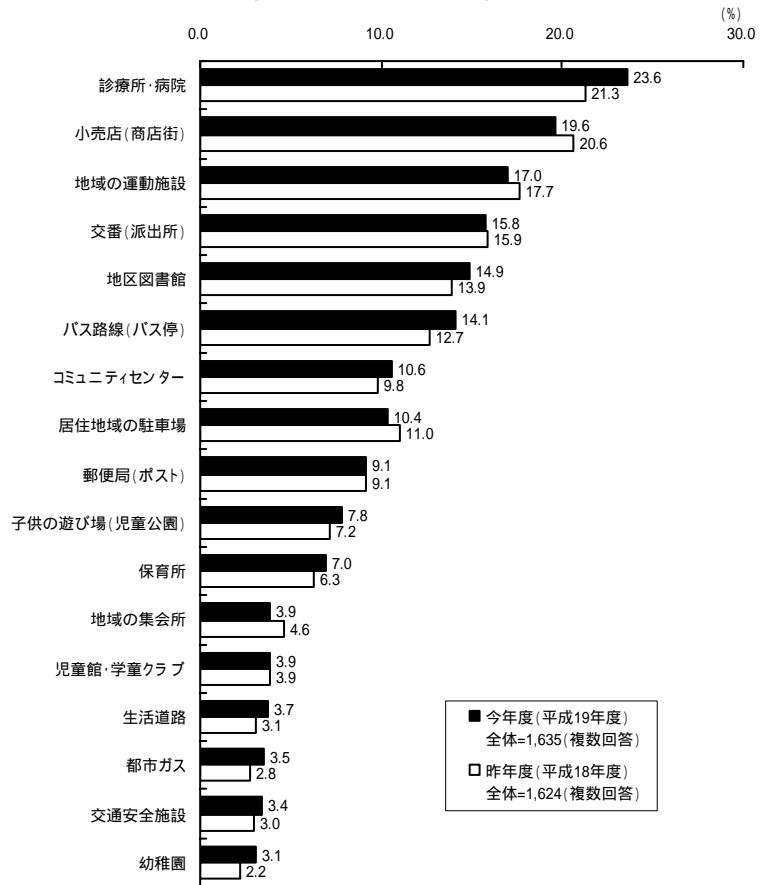
問．あなたは現在の多摩市に、特にどのような施設が必要だと思いますか。

（身近な地域）（3つまで）

「診療所・病院」が23.6%と最も高くなっており、次いで「小売店（商店街）」19.6%、「地域の運動施設」17.0%、「交番（派出所）」15.8%の順となっています。

昨年度の結果と比べると、著しく増加・減少している項目は特になく、もっとも増加が大きいのは「診療所・病院」（2.3ポイント増）となっています。

多摩市に必要な施設（身近な地域の施設）



- 6 - (10) 市政への要望（行政に力を入れてほしいこと）

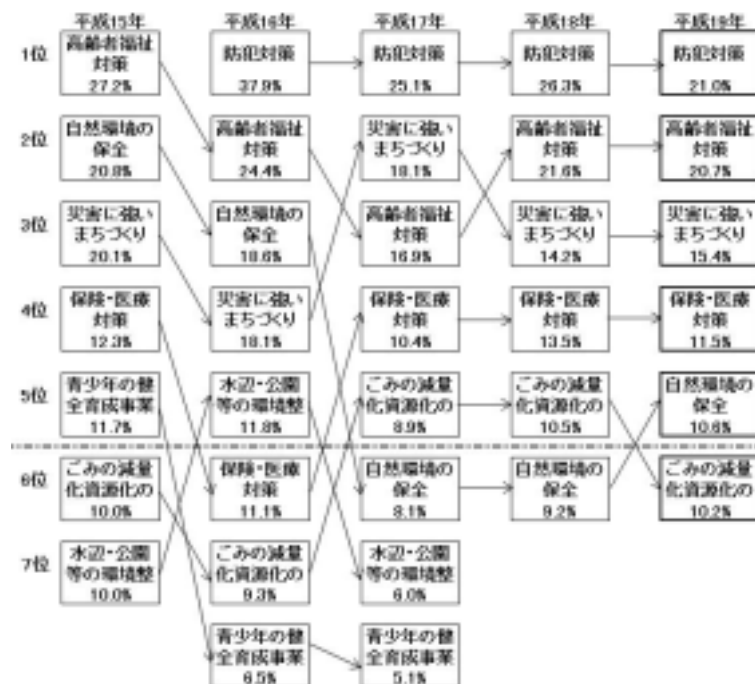
問．あなたが行政に対してこれから特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。

（3つまで）

「防犯対策」が21.0%と最も高くなっており、次いで「高齢者福祉対策」20.7%、「災害に強いまちづくり」15.4%の順となっています。

「防犯対策」は4年連続で第1位となっています。前年度と比較するとほぼ同様の順位となっています。

これから力を入れてほしいこと（経年変化）

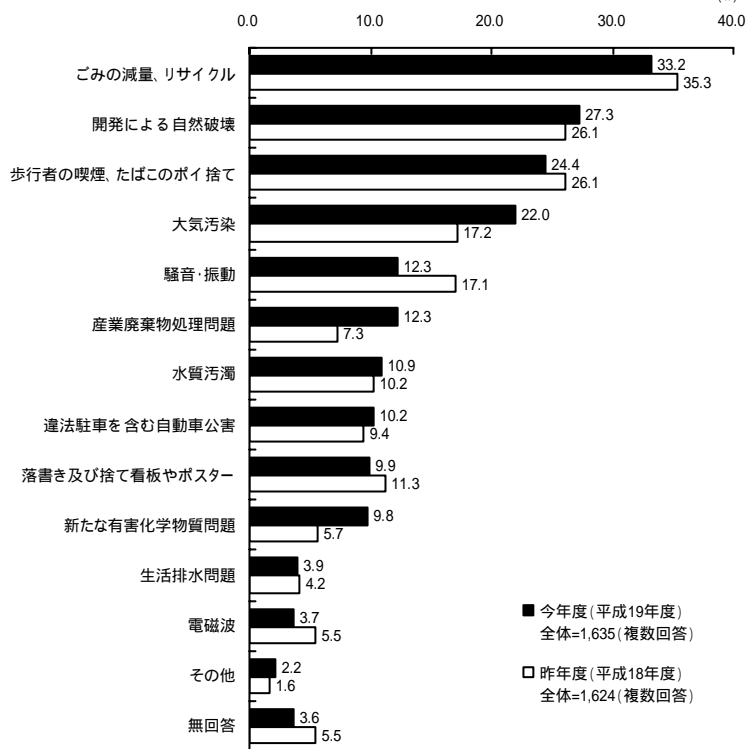


- 7 - (1) 環境問題の関心

問.あなたが地域レベルの環境問題について、特に関心のある項目はどれですか。
(2つまで)

「ごみの減量、リサイクル」が33.2%と最も高く、次いで「開発による自然破壊」27.3%「歩行者の喫煙、たばこのポイ捨て」24.4%の順に高くなっています。
昨年度の結果と比べると、増加している項目は「大気汚染」(4.8ポイント増)、「産業廃棄物処理問題」(5.0ポイント増)となっています。

関心のある地域レベルの環境問題

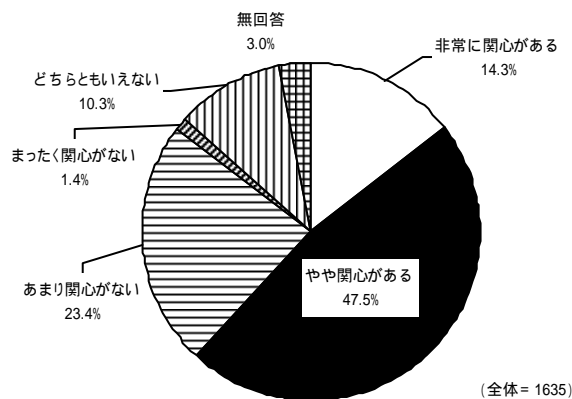


- 8 - (1) 市政への関心

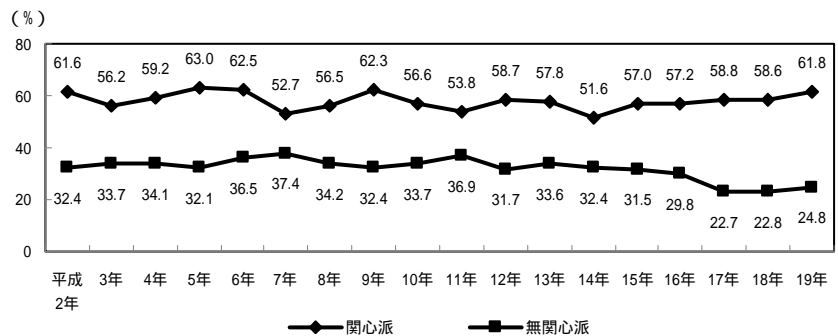
問.あなたは市政について、どの程度関心を持っていますか。
(1つだけ)

「非常に関心がある」と「やや関心がある」をあわせた“関心派”が61.8%を占めています。
経年変化をみると“関心派”は平成14年度以降緩やかに上昇傾向にあり、今年度は昨年度より増加しています。
「あまり関心がない」「まったく関心がない」をあわせた“無関心派”は平成17年度以降ほぼ横ばいとなっています。

市政への関心度



市政への関心(経年変化)



- 9 - (1) 市施設の利用状況

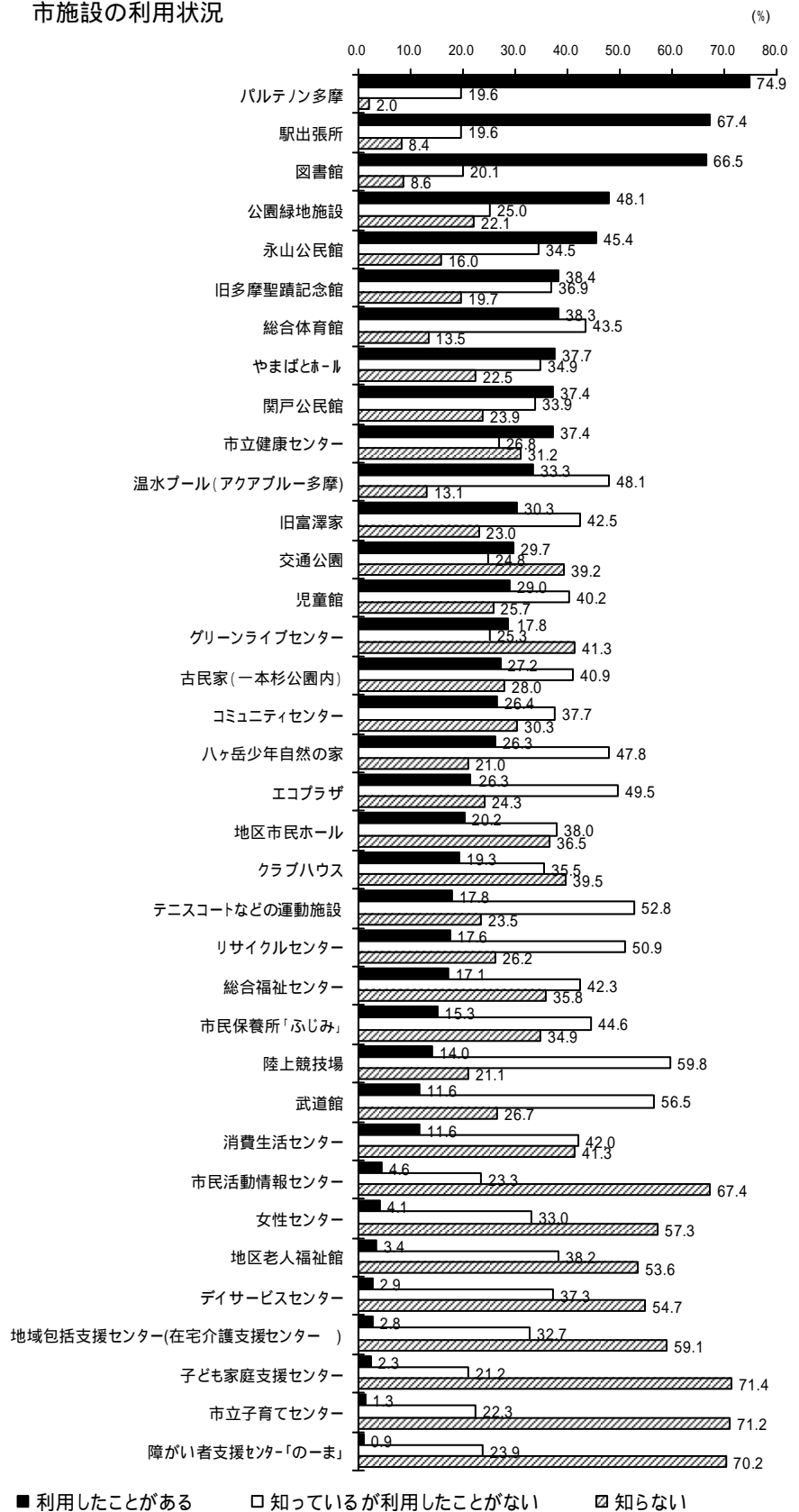
次にあげる多摩市の施設について、あなたは知っていますか。また、利用したことはありますか。(それぞれ1つだけ)

利用したことがある施設では「パルテノン多摩」が74.9%と最も高く、次いで「聖蹟桜ヶ丘、多摩センター駅出張所」、「図書館」、「多摩中央公園・原峰公園等の公園緑地施設」の順となっています。

知っているが利用したことがない施設では「陸上競技場」が59.1%と最も高く、次いで「武道館」「テニスコートなどの運動施設」の順となっています。

また、福祉施設などの利用者が限られている施設はあまり知られていない結果となっています。

市施設の利用状況



全体 = 1,635

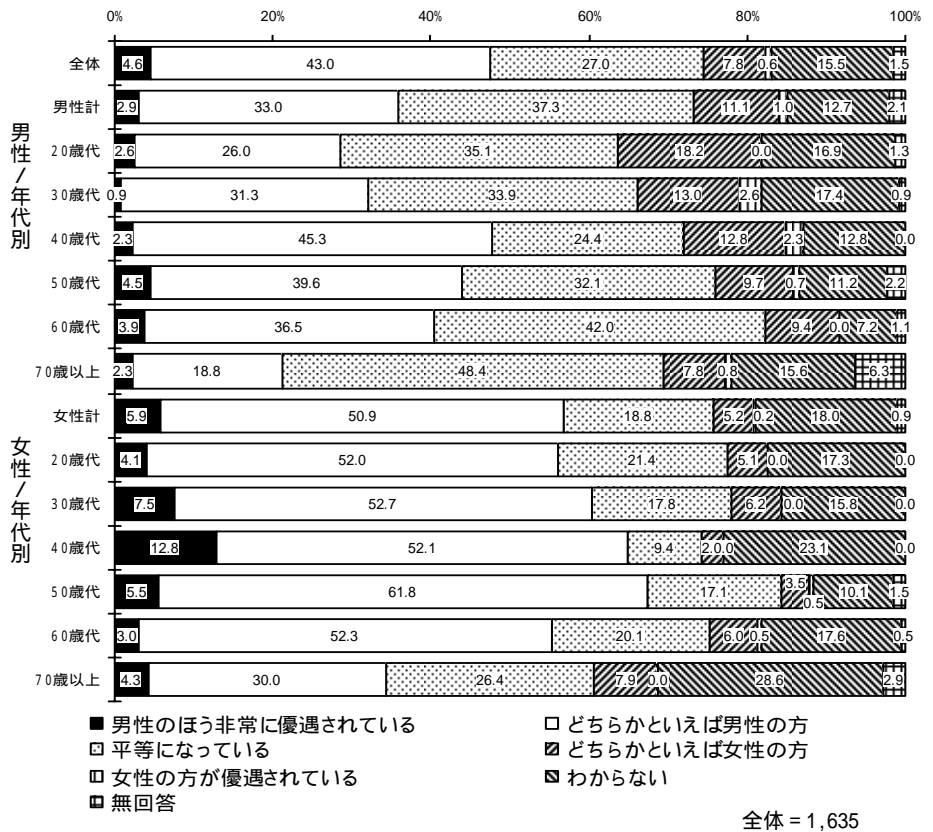
在宅介護支援センターは、平成 18 年 4 月より地域包括支援センターに移行しています。

- 10 - (1) 男女の地位の平等性についての認識

問. あなたは現在、家庭・地域・制度・慣習などを通して男女の地位は平等になっていると思いますか。(1つだけ)

男女の地位は平等になっているかは、「男性のほうが非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」を合わせた“男性優遇派”は47.6%で半数近くを占めています。性・年齢別にみると、“男性優遇派”は女性のほうが年代を問わず高く、また“女性優遇派”は男性の20歳代～40歳代の比較的若い層で高くなっています。

男女の地位の平等性についての認識(性・年代別)

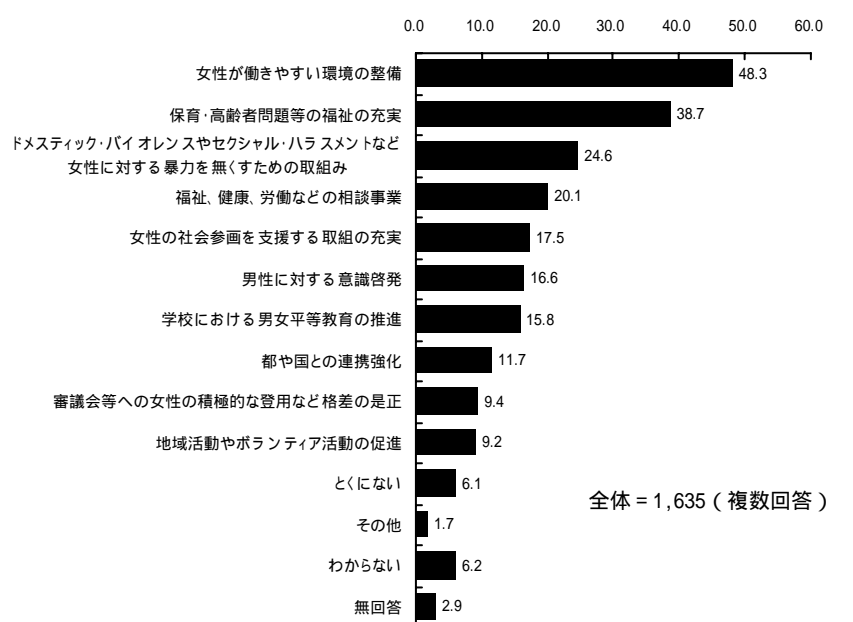


- 10 - (2) 行政が力を入れるべき男女平等施策

問. これから多摩市が推進する男女平等施策のうち、どのようなことに力をいれていったらよいと思いますか。(3つまで)

男女平等施策のうち、どのようなことに力をいれていったらよいかは、「女性が働きやすい環境の整備」(48.3%)が最も高く、次いで「保育・高齢者問題等の福祉の充実」(38.7%)、「ドメスティック・バイオレンスやセクシャル・ハラスメントなど女性に対する暴力を無くすための仕組み」(24.6%)となっています。

行政が力を入れるべき男女平等施策



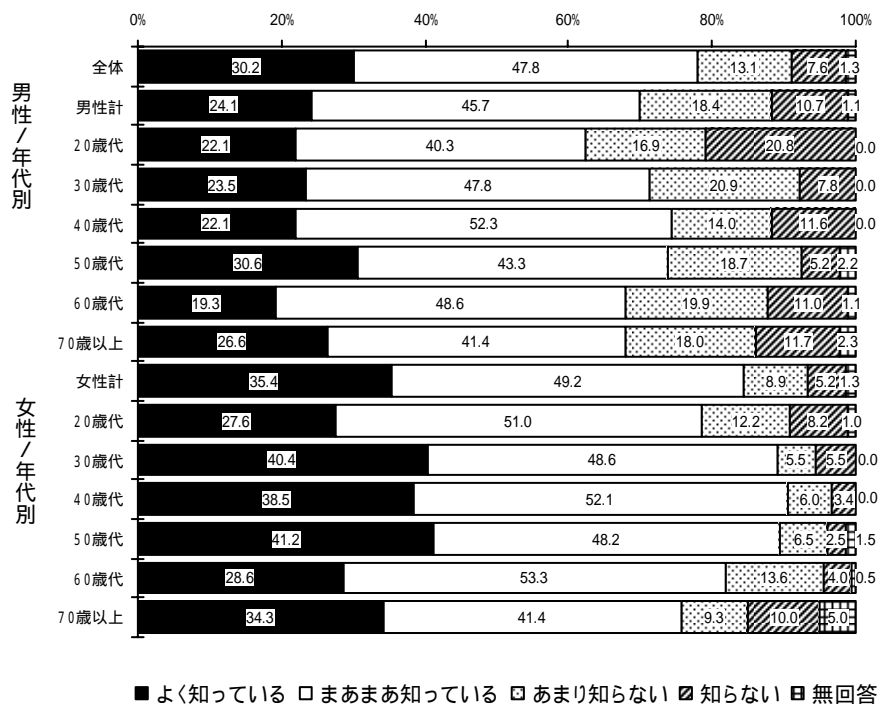
- 11 - (1) 「食育」に対する周知度

問. 「食育」という言葉を知っていますか。
(1つだけ)

「食育」という言葉について知っているかは、「よく知っている」、「まあまあ知っている」の両者を合わせた「知っている派」は約8割を占めています。

性別にみると、「知っている派」は男性より女性のほうが高くなっています。中でも、女性の「30歳代」～「50歳代」の周知度が高くなっています。

食育に対する周知度(性・年代別)



全体 = 1,635

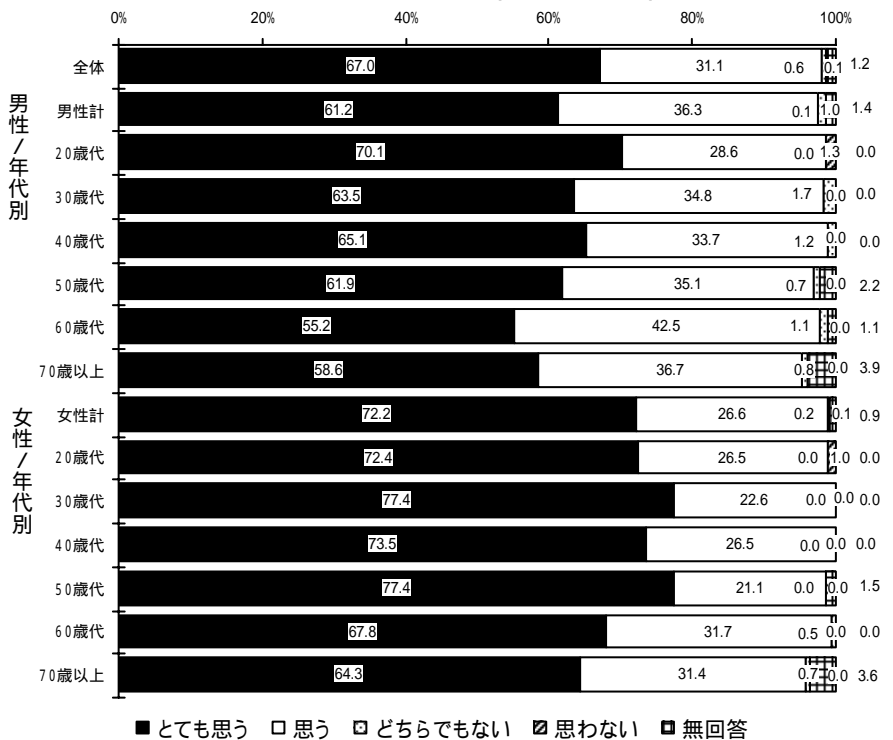
- 11 - (2) 健康に対する食事の影響についての意識

問. 健康に過ごすために食事の影響は大きいと思いますか。
(1つだけ)

健康に過ごすために食事の影響は大きいかは、「とても思う」が全体の7割近くを占め、「思う」を合わせると、大多数になります。

性別にみると、「とても思う」は男性より女性のほうが高くなっています。

健康に対する食事の影響について意識(性・年代別)



全体 = 1,635

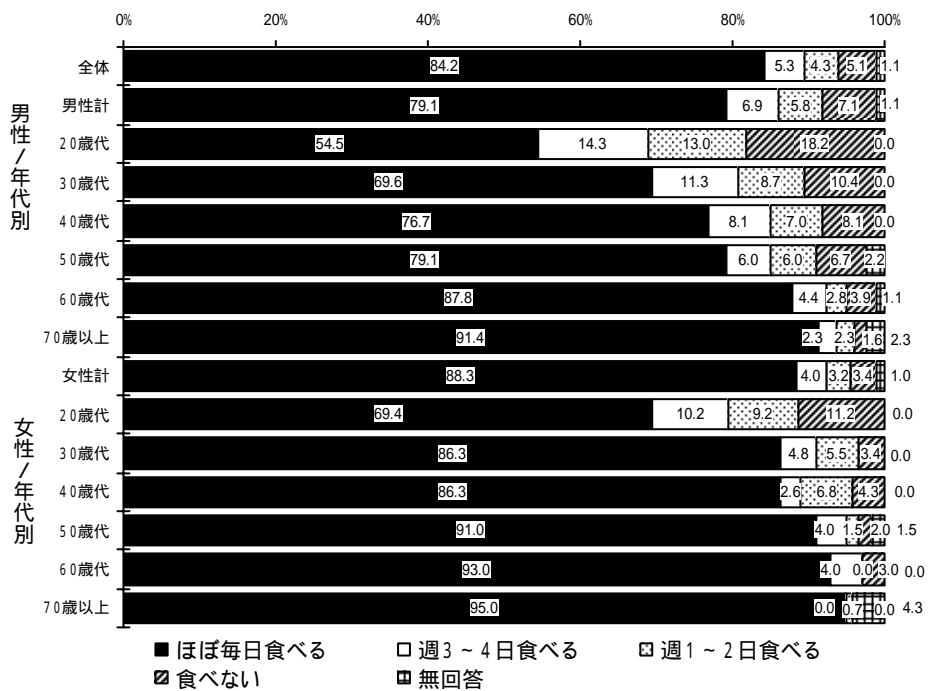
- 11 - (3) 朝食の摂取状況

問.朝食を毎日とっていますか。
(1つだけ)

朝食の摂取状況についてみると、「ほぼ毎日食べる」が8割を超えています。「週3～4日食べる」、「食べない」、「週1～2食べる」は何れもほぼ5%程度となっています。

「週3～4日食べる」「週1～2日食べる」「食べない」は性・年齢別にみると、男性の20～30歳代と女性の「20歳代」で高くなっています。

朝食の摂取状況(性・年代別)



全体 = 1,635

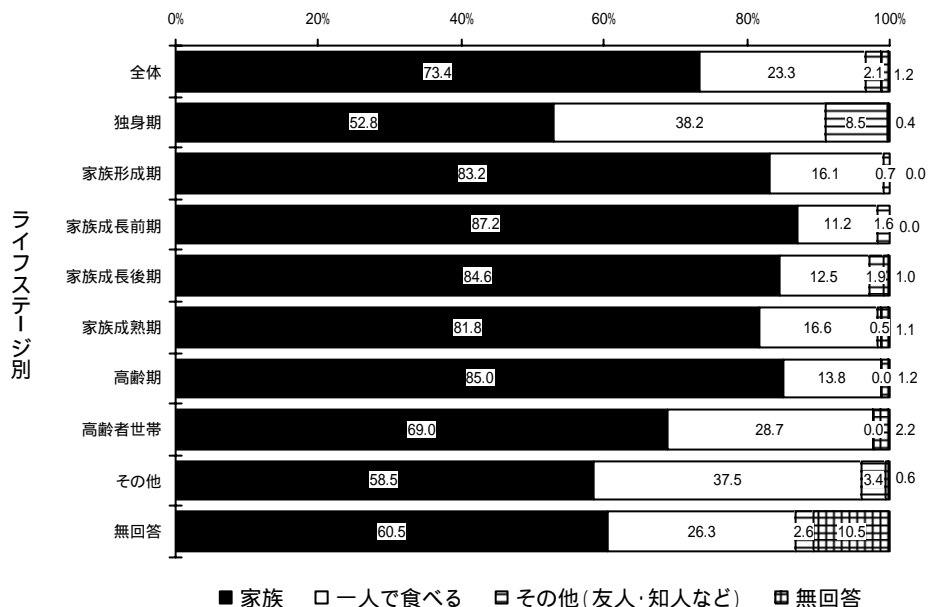
- 11 - (3) 一緒に食事をする相手

問.食事は主に誰と食べますか。
(1つだけ)

一緒に食事をする相手についてみると、家族が7割を超えています。次いで、「一人で食べる」23.3%、「その他(友人・知人など)2.1%の順となっています。

ライフステージ別にみると、「一人で食べる」は「独身期」「高齢者世帯」で高くなっています。

一緒に食事をする相手(ライフステージ別)



全体 = 1,635

ライフステージの内容

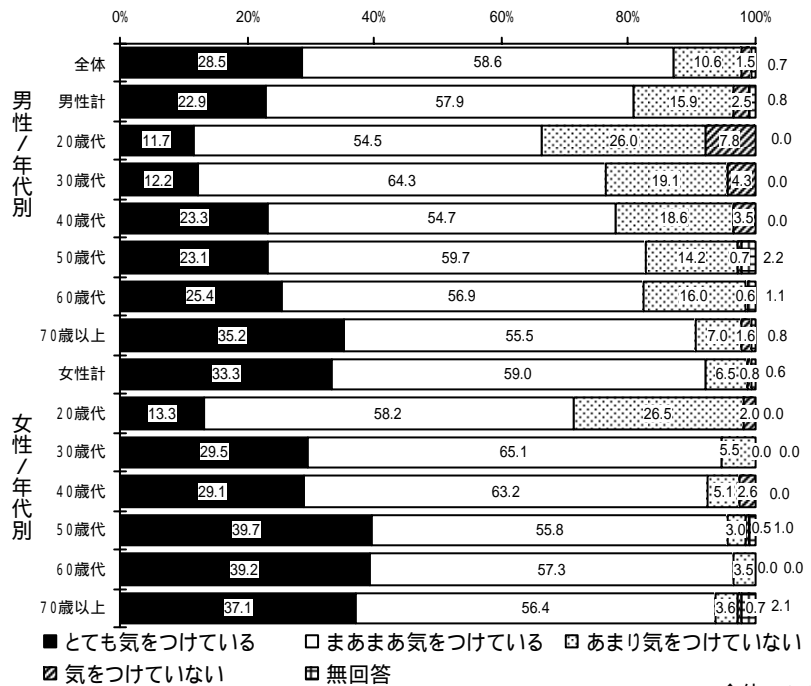
- 独身期 (20・30代の未婚者)
- 家族形成期 (20・30代の子供のいない夫婦又は、第一子が未就学の親)
- 家族成長前期 (第一子が小学生～中学生)
- 家族成長後期 (第一子が高校生～大学生)
- 家族成熟期 (第一子または子供全員が独立(学校卒業・就職・結婚など))
- 高齢期 (65歳以上で子供と同居)
- 高齢者世帯 (65歳以上で子供と別居あるいは高齢者のみ)
- その他 (40～64歳の未婚者及び子供のいない夫婦、その他)

- 11 - (4) 食事の栄養バランスに対する認識

問. 食事の際、栄養バランスに気をつけていますか。
(1つだけ)

食事の栄養バランスに気をつけているかは、「まあまあ気をつけている」と「とても気をつけている」をあわせた「気をつけている」は9割近くを占めています。
性・年齢別にみると、「気をつけている」は男性より女性のほうが高くなっています。
「気をつけていない」は男性の20～40歳代と女性の「20歳代」で高くなっています。

食事の栄養バランスに対する認識(性・年代別)



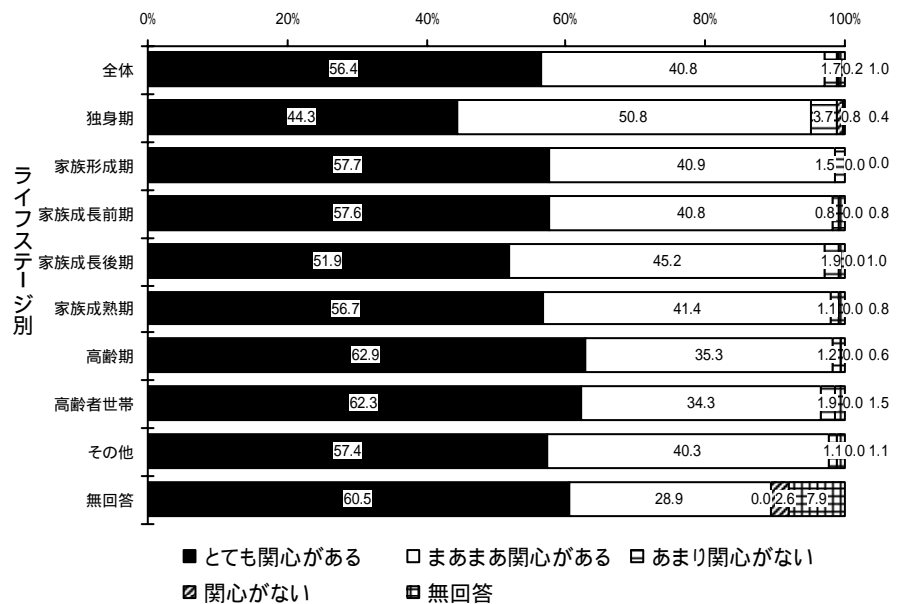
全体 = 1,635

- 11 - (5) 食の安心・安全に対する関心度

問. 食の安心・安全に関心がありますか。(1つだけ)

食の安心・安全に関心があるかは、「とても関心がある」、「まあまあ関心がある」を合わせた「関心あり」が97.2%と大部分の人が関心を持っています。
ライフステージ別にみると、「とても関心がある」は「独身期」で低く、「高齢期」「高齢者世帯」で高くなっています。

食の安心・安全に対する関心度(ライフステージ別)



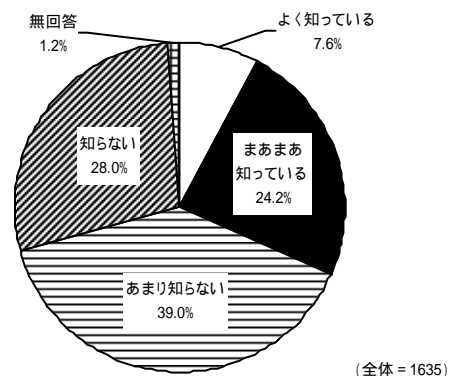
全体 = 1,635

- 12 - (1) 障害者自立支援法に関する認知度

問．障害者自立支援法が施行され、新しいサービス体系が導入されていることは、ご存知ですか。
(1つだけ)

障害者自立支援法の施行についてみると、「あまり知らない」、「知らない」を合わせて、7割近くを占めています。「よく知っている」は7.6%にとどまっています。

障害者自立支援法に関する認知度

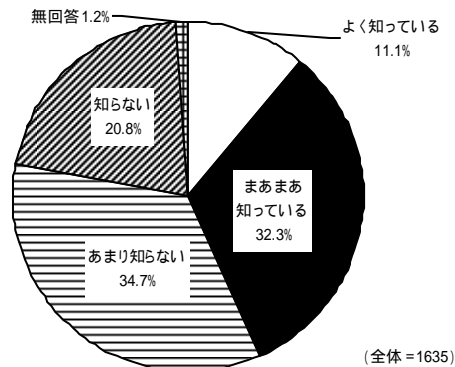


- 12 - (2) 後天的障害に関する認知度

問．後天的なケガや病気により障害者手帳を持つ方も増えてきていることをご存知ですか。
(1つだけ)

後天的な理由で障害者手帳を持つ方について知っているかは、「あまり知らない」34.7%、「まあまあ知っている」32.3%、「知らない」20.8%、「よく知っている」11.1%の順となっています。

後天的障害に関する認知度

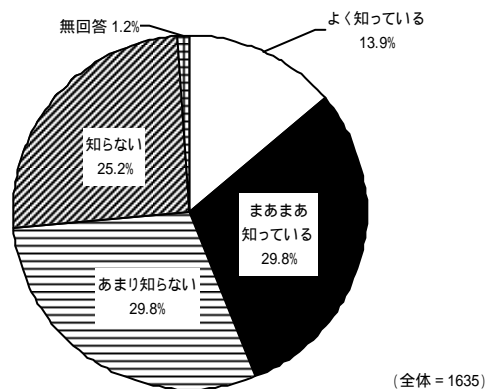


- 12 - (3) 障害者手帳の種類に関する認知度

問．障害者手帳には、「身体障害者手帳」「知的障害者手帳」「精神保健福祉手帳」があることをご存知ですか。
(1つだけ)

障害者手帳の種類について知っているかは、「あまり知らない」と「まあまあ知っている」がそれぞれ約3割で、「知らない」は25.2%、「よく知っている」は13.9%となっています。

障害者手帳の種類に関する認知度



- 12 - (4) 障がい者に対する手助けの状況

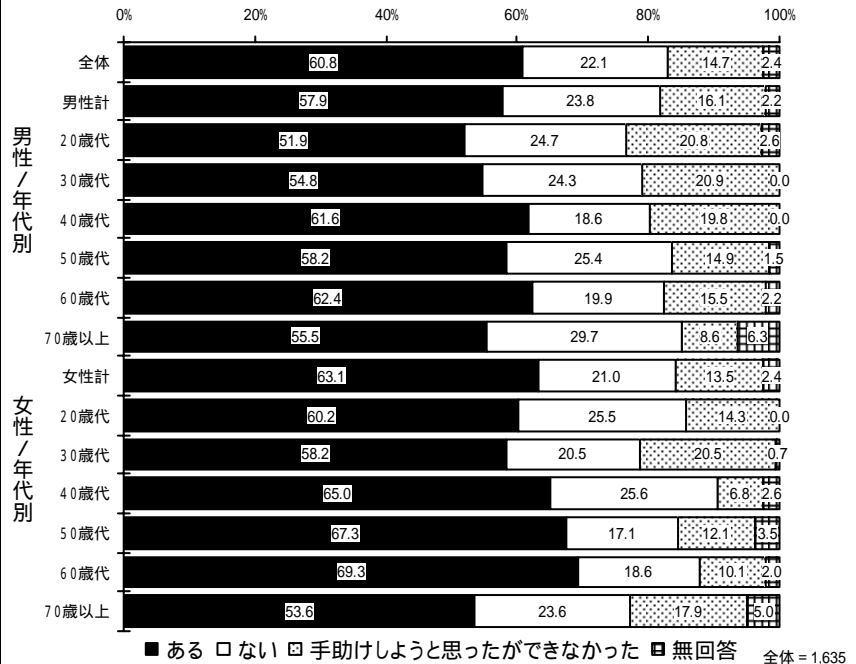
問．障がい者の方が困った時に、手助けをしたことがありますか（１つだけ）

できなかった理由はなんですか。

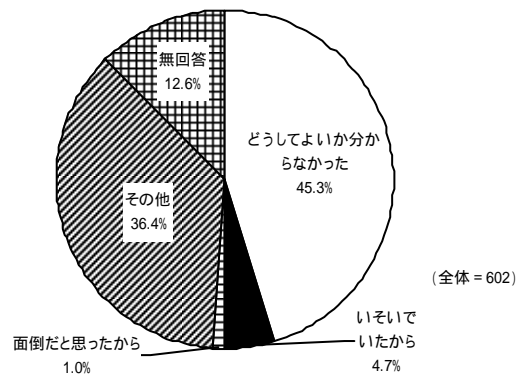
障がい者の方に手助けをしたことがあるかについては、「ある」が6割を超えていて、次いで、「ない」、「手助けしようと思ったが出来なかった」の順となっています。性・年齢別にみると、「手助けしようと思ったが出来なかった」は男性の比較的若い層で高くなっています。

手助けできなかった理由についてみると、「どうしてもよいか分らなかった」が最も高くなっています。

障がい者に対する手助けの状況（性・年代別）



手助けできなかった理由

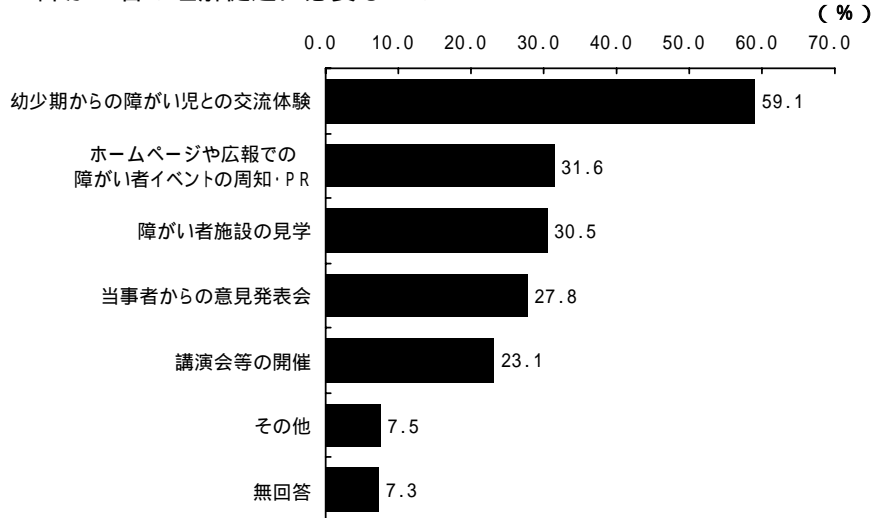


- 12 - (5) 障がい者の理解促進に必要なこと

問．障がい者の理解促進を行うためには、何が必要だと思いますか。（１つだけ）

障がい者の理解促進に必要なことは、「幼少期からの障がい児との交流体験」が最も高く、次いで「ホームページや広報での障がい者イベントの周知・PR」、「障がい者施設の見学」の順となっています。

障がい者の理解促進に必要なこと



全体 = 1,635

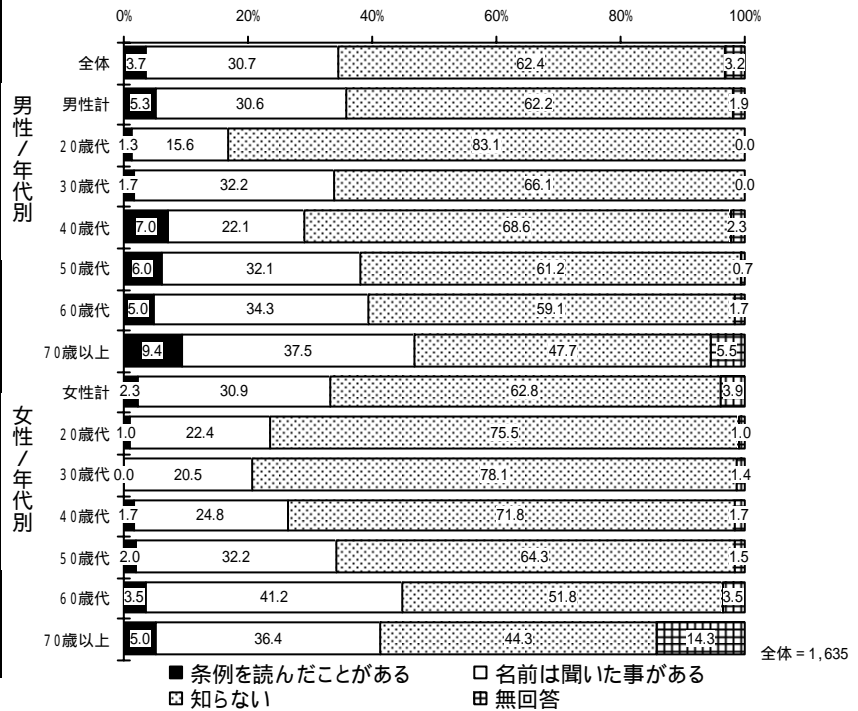
- 13 - (1) 多摩市自治基本条例の周知度

問. 多摩市自治基本条例を知っていますか。
(1つだけ)

多摩市自治基本条例を知っているかは、「知らない」が6割を超え、「条例をよんだことがある」は3.7%にとどまっている。

性・年齢別にみると、「知らない」は男性「20歳代」83.1%、「40歳代」68.6%、女性「30歳代」78.1%、「20歳代」75.5%、「40歳代」71.8%と比較的若い層で高くなっている。

多摩市自治基本条例の周知度(性・年代別)



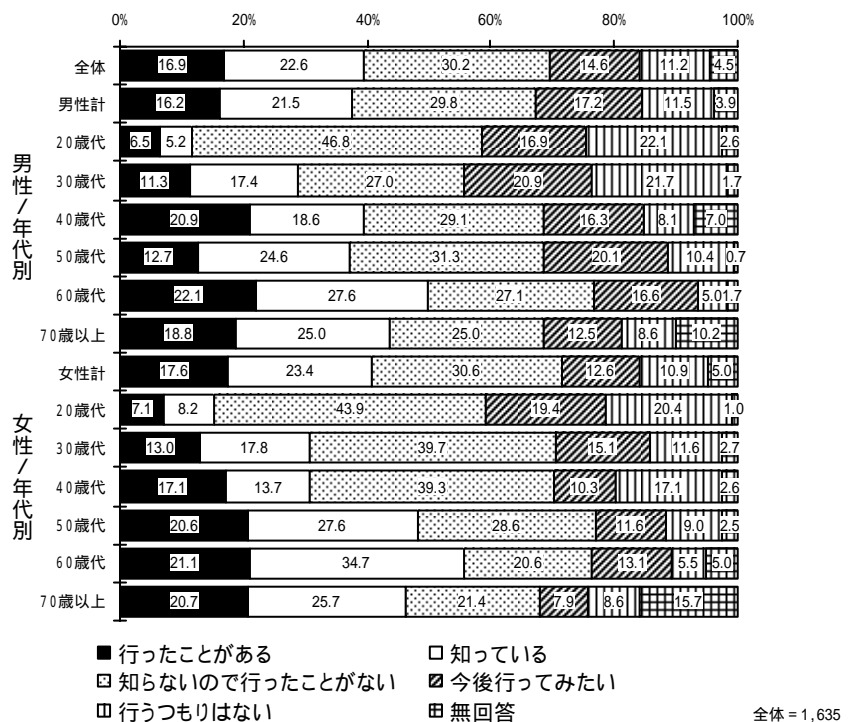
- 13 - (2) 市政への市民参画の有無

問. 市政への市民参画を行いましたか。
(1つだけ)

市政への市民参画の有無をみると、「行ったことがある」は16.9%で「行ったことがない」は78.6%となっている。「行ったことがない」のうち、市民参画について「知らないので行ったことがない」30.2%が最も高くなっています。

性・年齢別にみると、男性女性とも若い層では、「行ったことがある」の割合が低く、「知らないので行ったことがない」「行うつもりはない」の割合が高くなっています。

市政への市民参画の有無

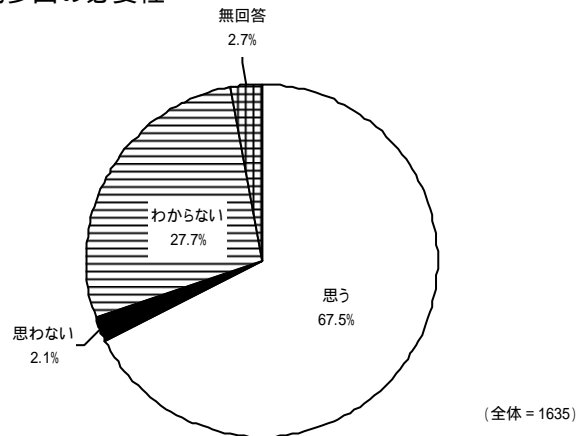


- 13 - (3) 市政への市民参画の必要性

問．市政への市民参画は必要だと思えますか。
(1つだけ)

市民参画の必要だと思うかは「思う」67.5%が7割近くを占め、次いで「わからない」27.7%、「思わない」は2.1%にとどまっている。

市政への市民参画の必要性

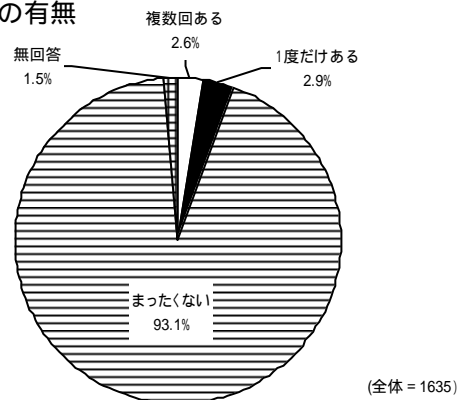


- 14 - (1) 多摩市議会の傍聴の有無

問．市議会を傍聴したことがありますか。(1つだけ)

市議会を傍聴したことがあるかは「まったくない」93.1%が9割を超えています。「1度だけある」2.9%、「複数回ある」2.6%を合わせても6%に満たない状況となっています。

多摩市議会の傍聴の有無

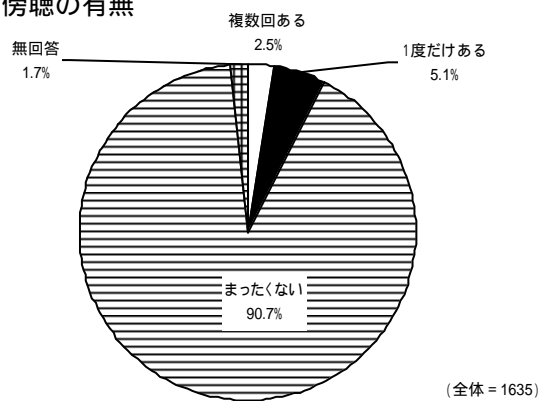


- 14 - (2) 市議会中継の視聴の有無

問．庁舎ロビーで行っている市議会中継を見たことがありますか。
(1つだけ)

庁舎ロビーで市議会中継を見たことがあるかは、「まったくない」が9割をこえ、「1度だけある」「複数回ある」を合わせても1割に満たない状況となっています。

多摩市議会の傍聴の有無



- 14 - (3) 市議会中継の視聴に対する意向

問．市議会中継を見たいと思いますか。（1つだけ）

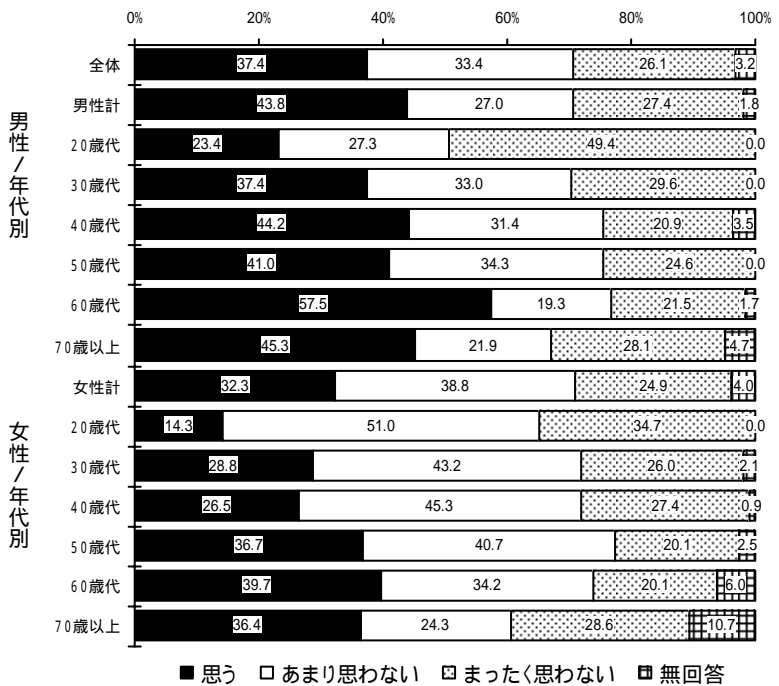
見る場合、どのような方法で見たいですか。（いくつでも）

市議会中継を見たいと思うかは、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせると6割を超え、一方「思う」は37.4%となっています。

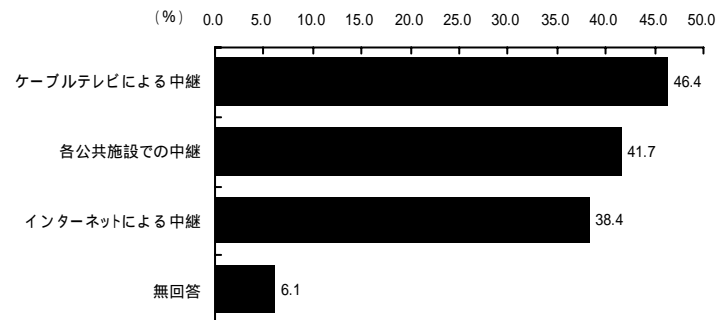
性・年齢別にみると、「思う」は「男性」43.3%、「女性」32.3%で男性のほうが高く、中でも「60歳代」57.5%が最も高くなっています。また、若い世代ほど「思わない」の割合が高い傾向にあります。

見る場合、どのような方法で見たいかは、「ケーブルテレビによる中継」46.4%、「各公共施設での中継」41.7%、「インターネットによる中継」38.4%の順となっています。

市議会中継を見たいと思うか



見る場合どのような方法で見たいか



- 15 - (1) 日常生活での実感 (子育てのしやすさ)

問. 多摩市は子育てしやすいまちだと思いますか。

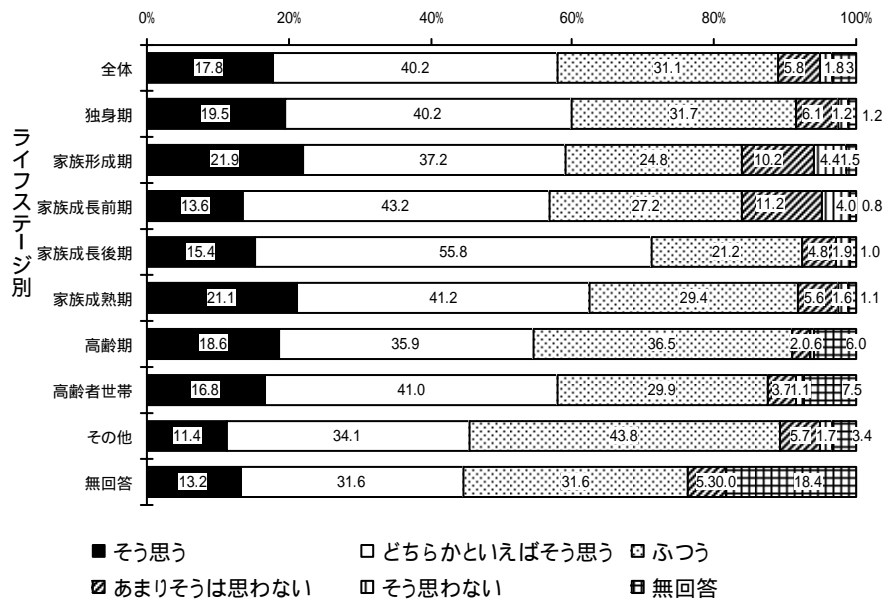
(1つだけ)

全体では肯定派が58.0%、否定派が36.9%となっています。

ライフステージ別でみると、「そう思う」は「家族形成期」「家族成熟期」で比較的高くなっており、また、「どちらかといえばそう思う」と合わせた「子育てしやすいまちだと思う」という意見は「家族成長後期」で7割以上を占めています。

肯定派 = 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計
 否定派 = 「そう思わない」「あまりそうは思わない」の合計

子育てのしやすさ (ライフステージ別)



全体 = 1,635

- 15 - (1) 日常生活での実感 (防犯・防災面からみた安全性)

問. 多摩市は防犯・防災などの面から見て、安心・安全なまちだと思いますか。

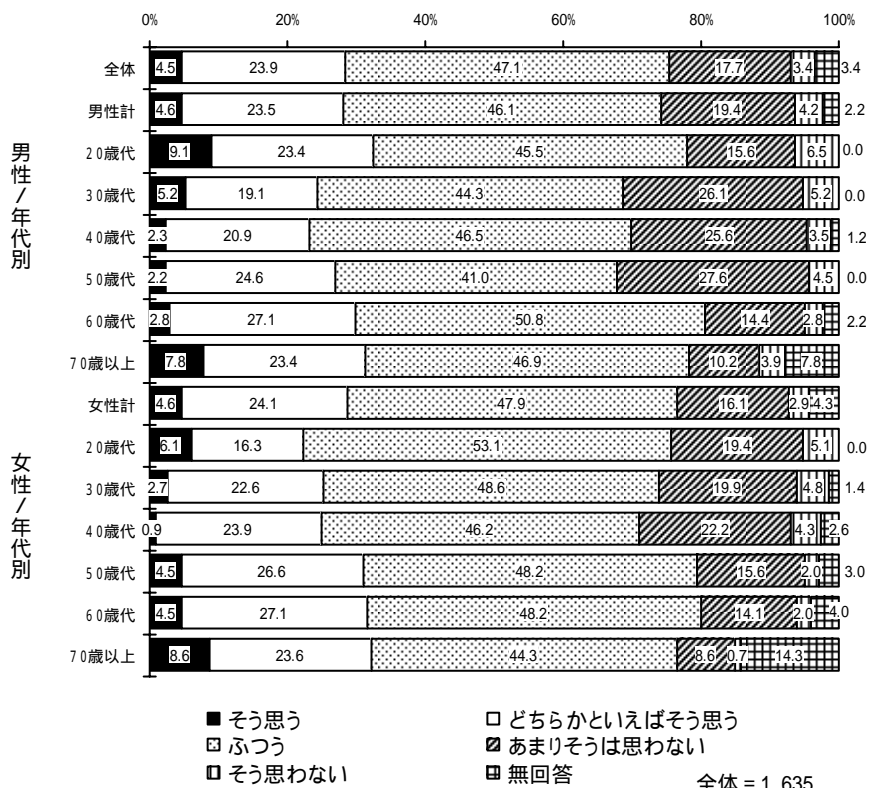
(1つだけ)

全体では肯定派が28.4%、否定派が21.1%となっています。

年代別でみると、「そう思う」が男性の「20歳代」で9.1%、「あまりそうは思わない」が男性の「50歳代」で27.6%と比較的高くなっています。

肯定派 = 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計
 否定派 = 「そう思わない」「あまりそうは思わない」の合計

防犯・防災面からみた安全性 (性・年代別)



全体 = 1,635

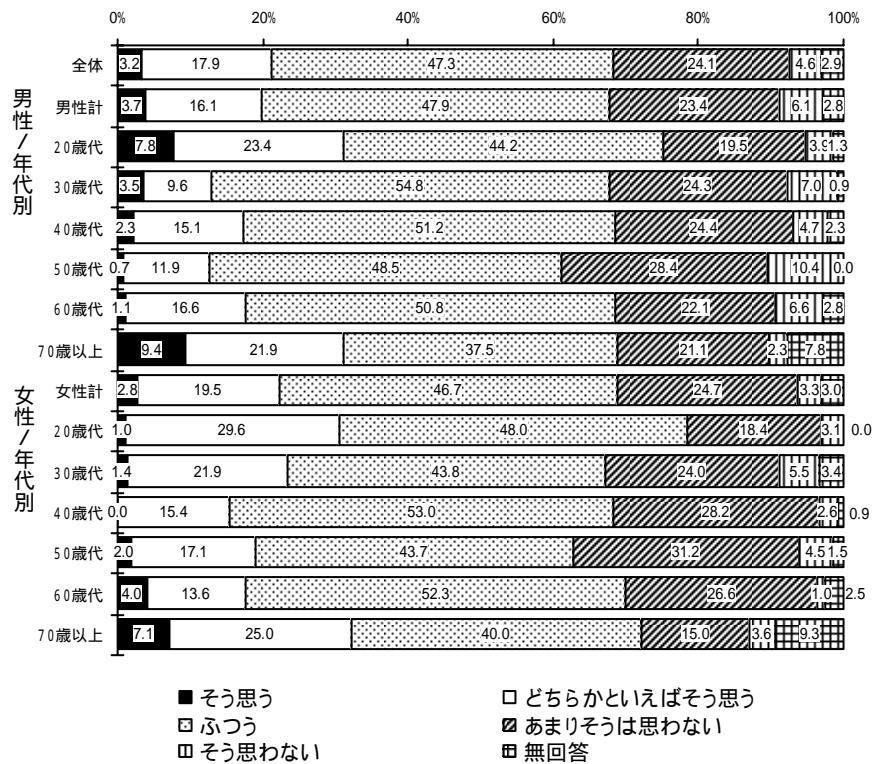
- 15 - (1) 日常生活での実感 (高齢者・障がい者等にとっての安全性)

問. 多摩市は高齢者、障がい者等が安全に安心して暮らすことができるまちだと思いますか。
(1つだけ)

全体では肯定派が21.1%、否定派が28.7%となっています。
年代別でみると、「どちらかといえばそう思う」が男性女性ともに「20歳代」「70歳以上」で高く、「あまりそうは思わない」が女性の「50歳代」で3割以上を占め、比較的高くなっています。

肯定派 = 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計
否定派 = 「そう思わない」「あまりそうは思わない」の合計

高齢者・障がい者等にとっての安全性 (性・年代別)



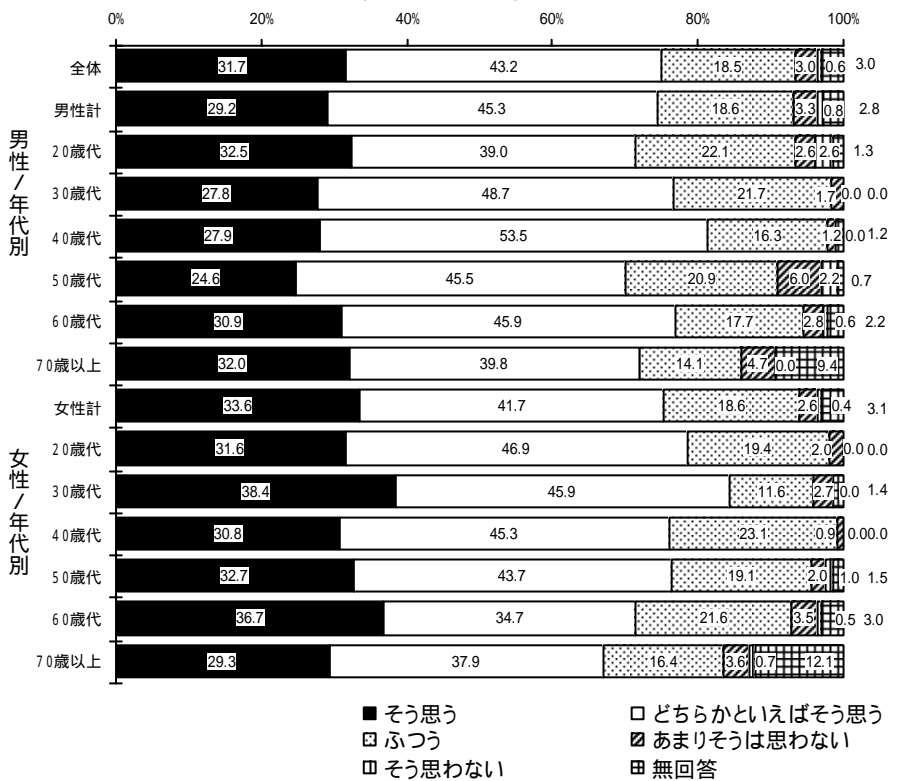
- 15 - (1) 日常生活での実感 (地域住民との関係について)

問. あなたは地域で困ったときに助け合える関係を築きたいと思えますか。
(1つだけ)

全体では肯定派が74.9%、否定派が3.6%となっています。
年代別でみると、肯定派は男性では「40歳代」、女性では「30歳代」が高くなっています。

肯定派 = 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計
否定派 = 「そう思わない」「あまりそうは思わない」の合計

地域住民との関係について (性・年代別)



- 15 - (1) 日常生活での実感 (多摩市の魅力)

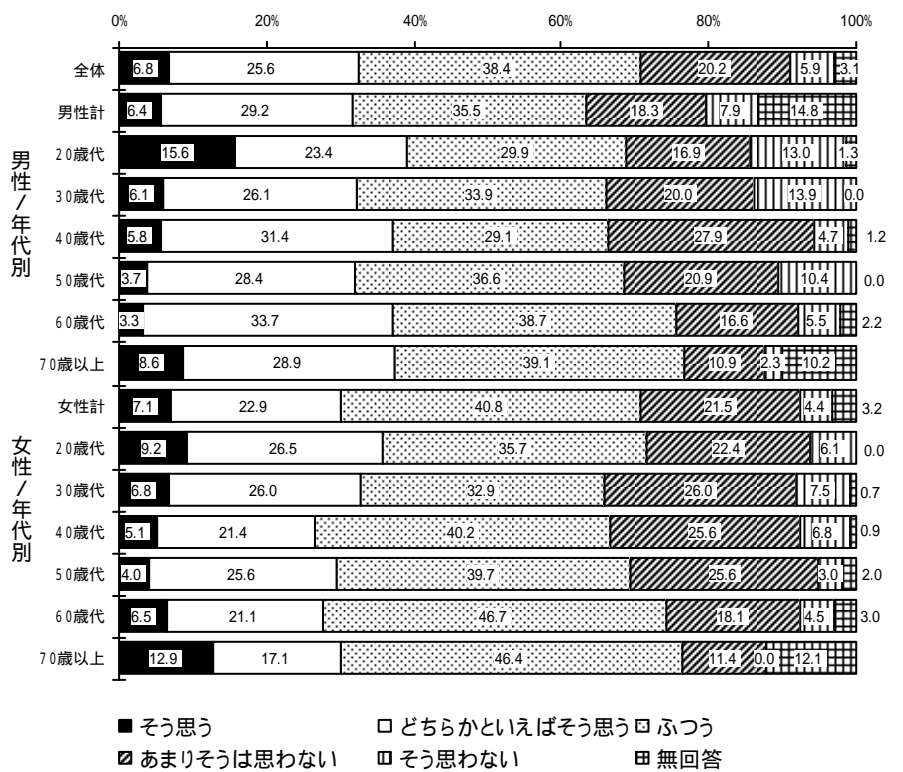
問. 多摩市を客観的に見て、魅力のあるまちだと思いますか。
(1つだけ)

全体では肯定派が32.4%、否定派が26.1%となっています。

年代別でみると、「そう思う」は男性の「20歳代」で比較的高くなっています。

肯定派 = 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計
否定派 = 「そう思わない」「あまりそうは思わない」の合計

多摩市の魅力 (性・年代別)



全体 = 1,635

- 15 - (2) 現在の健康状態

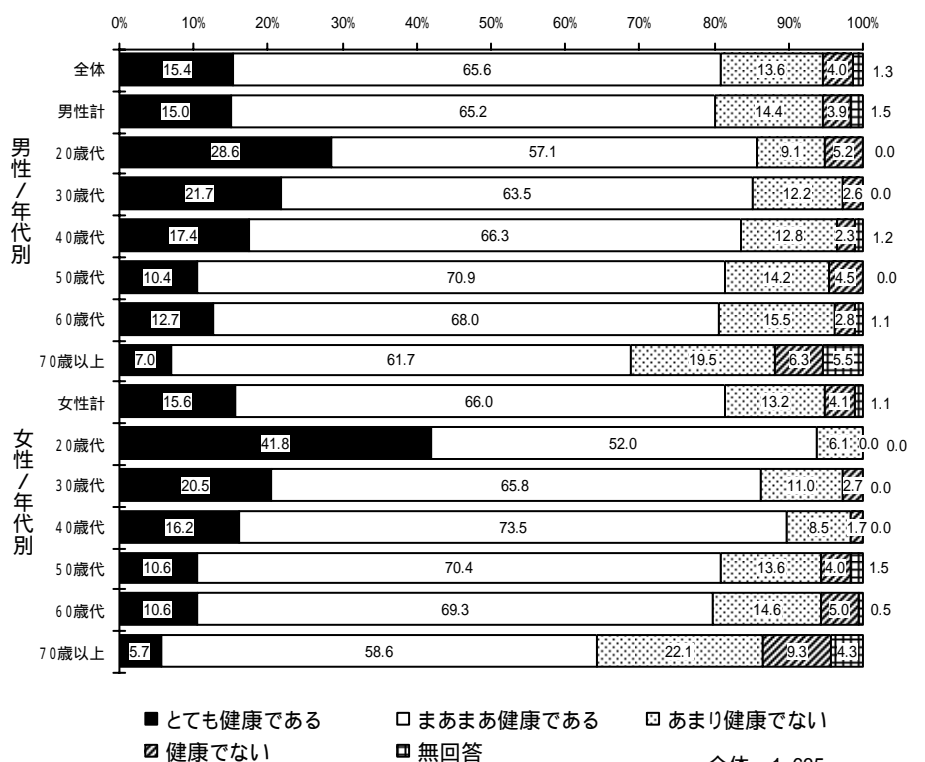
問. 現在、あなたはご自身で健康だと思いますか。
(1つだけ)

全体では“健康である”が81.0%、“健康でない”が17.6%となっています。

年代別でみると、「とても健康である」は男性女性とも「20歳代」で最も高くなっていて、その割合は年代が上がるにつれて低くなっていく傾向にあります。

健康である = 「とても健康である」「まあまあ健康である」の合計
健康でない = 「健康でない」「あまり健康でない」の合計

現在の健康状態 (性・年代別)



全体 = 1,635

- 16 - (1) インターネットの利用状況

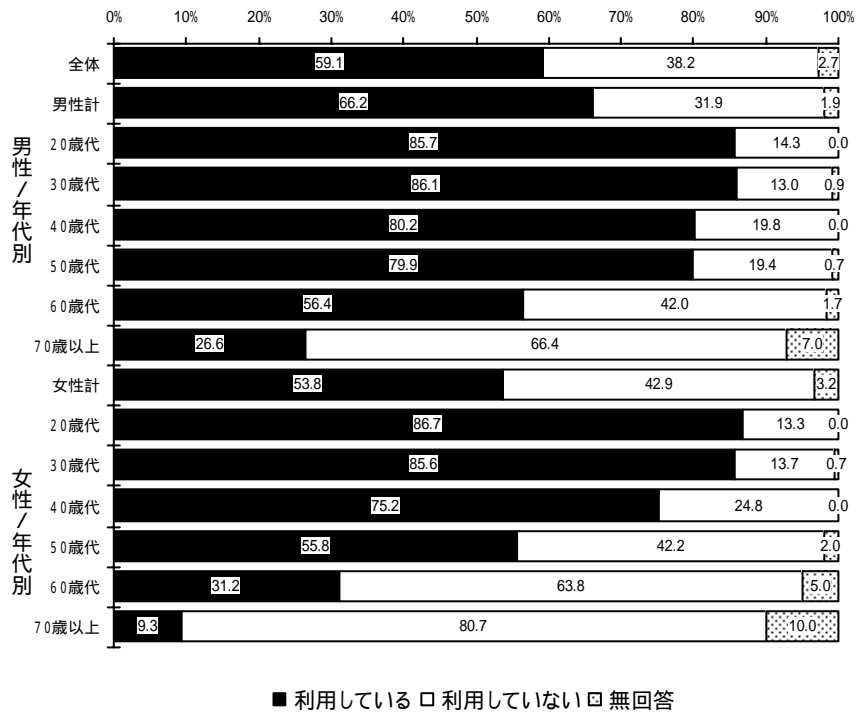
問．あなたは現在、インターネットを利用していますか。
(1つだけ)

全体では「利用している」が59.1%を占め、「利用していない」を上回っています。

年代別でみると、「利用している」は男性女性ともに「20歳代」「30歳代」が85%以上を占め、高くなっています。

また「20歳代」では男性の割合が男性に比べ高くなっています。

インターネットの利用状況（性・年代別）



全体 = 1,635

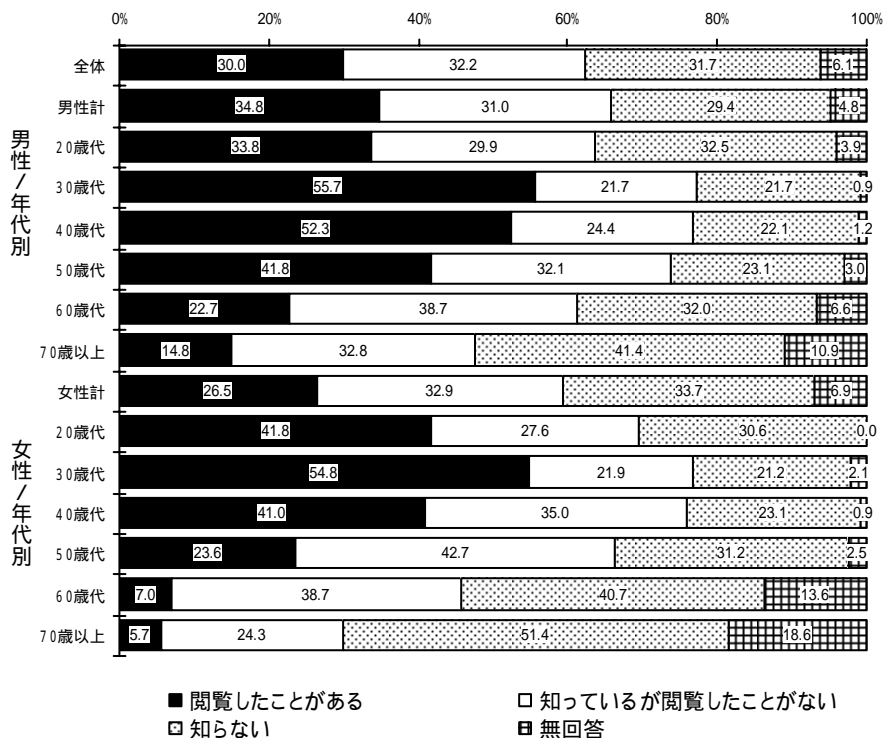
- 16 - (3) 多摩市公式ホームページの閲覧状況

問．あなたは多摩市公式ホームページを閲覧したことがありますか。
(1つだけ)

多摩市公式ホームページの閲覧状況についてみると、「閲覧したことがある」が全体の3割を占め、「知っているが閲覧したことはない」と合わせると6割を超えています。年代別でみると、「閲覧したことがある」は男性女性とも「30歳代」で最も高く、半数異常を占めています。

また、男女ともに30歳代以降では高齢になるに従って、「知らない」の割合が高くなっています。

多摩市公式ホームページの閲覧状況（性・年代別）



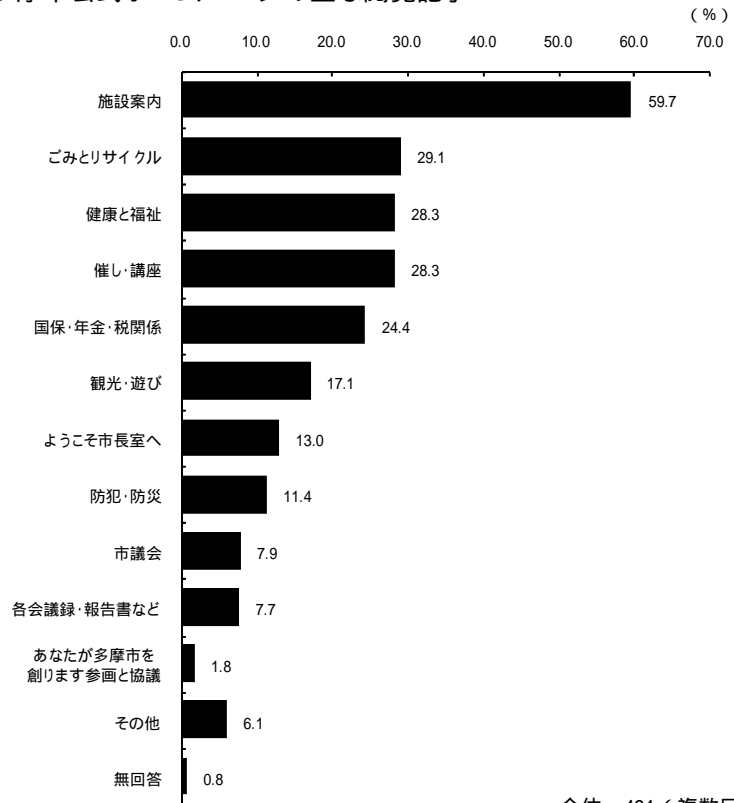
全体 = 1,635

- 16 - (4) 多摩市公式ホームページの閲覧記事

問．多摩市公式ホームページの主にどのような記事を閲覧していますか。
(いくつでも)

主な閲覧記事については、「施設案内」が59.7%と最も高くなっています。次いで「ごみとリサイクル」29.1%、「健康と福祉」28.3%、「催し・講座」同28.3%の順となっています。

多摩市公式ホームページの主な閲覧記事



全体 = 491 (複数回答)

調査の概要

調査の対象となった方 : 20歳以上の市民
対象者数 : 3,000人
有効回収数 : 1,635人
回収率 : 54.5%
調査の方法 : 郵送配布回収
調査の実施時期 : 平成19年7月10日
~ 7月31日まで

《注意》

- ・ 図表中の「全体」とは、その設問に回答した人の数であり、設問によって異なります。
- ・ 回答結果は百分率(%)で表示しています。四捨五入しているため、%の合計が100%にならないことがあります。
- ・ また、複数回答の場合、%の合計が100%を超えることがあります。

この調査にご協力いただきました市民の皆様方に心よりお礼を申し上げます。

この調査結果は、「だれもが夢を持ち、互いに支えあうまち・多摩」をめざしていくための貴重な資料として役立てて参ります。

発行日：平成19年11月

発行：東京都多摩市 企画政策部 市長室 市民相談係

電話 042(338)6806 (直通) F A X 042(338)3311 (直通)

多摩市公式ホームページアドレス <http://www.city.tama.tokyo.jp/>